



リファレンス ガイド HP ノートブック シリーズ

文書番号 : 370697-291

2004年6月

このガイドでは、ノートブック コンピュータのセットアップ、操作、および手入れの方法とともにトラブルシューティングについて説明します。また、バッテリー パック、電源オプション、および外付けデバイスやモデムやネットワークの接続方法についても記載されています。さらに最終章では、モデム コマンド、安全および規定に関する注意など、参考情報を提供しています。

© Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。AdobeおよびAcrobatは、米国Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外では使用できない場合があります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

リファレンス ガイド
HPノートブック シリーズ
初版 2004年6月
参照番号：ze4900/nx9020/nx9030/nx9040
文書番号：370697-291

日本ヒューレット・パッカー株式会社

目次

1 お使いになる前に

ノートブック コンピュータの各部	1-1
前面および右側面の各部	1-2
左側面および背面の各部	1-3
底面の各部	1-4
ステータス ランプ	1-5
ノートブック コンピュータのセットアップ	1-7
ステップ1: バッテリ パックの挿入	1-7
ステップ2: AC電源への接続	1-8
ステップ3: 電話回線の接続	1-9
ステップ4: ノートブック コンピュータの電源投入	1-10
ステップ5: Windowsのセットアップ	1-11

2 基本操作

ノートブック コンピュータの操作	2-1
デフォルトの電源設定	2-2
ノートブック コンピュータのリセット	2-3
ブート デバイスの変更	2-3
タッチパッドの使用	2-4
タッチパッドのタップによるクリック機能の使用	2-5
ファンクション ホットキーの使用	2-6
ワンタッチ ボタンの使用	2-7
[Windows]キーおよび[アプリケーション]キーの使用	2-8
CDおよびDVDの使用	2-9
CDまたはDVDの挿入と取り出し	2-9
DVDムービーの再生	2-10
DVDメディアへの書き込み (一部のモデルのみ)	2-11
CDの作成またはコピー	2-11

ノートブック コンピュータのセキュリティ	2-12
パスワードによる保護の設定	2-12
ノートブック コンピュータのロック	2-13
別売のセキュリティ ケーブルの取り付け	2-13
コンピュータ ウィルスからの保護	2-14
ハードドライブのロック	2-14
ノートブック コンピュータの手入れ	2-15
ハードドライブの保護	2-15
ノートブック コンピュータのメンテナンス	2-16
データの保護	2-16
ディスプレイを長持ちさせる方法	2-17
ノートブック コンピュータの掃除	2-17
3 バッテリー パックおよび電源の管理	
節電設定	3-1
ノートブック コンピュータの自動電源管理	3-2
タイムアウト設定値の変更および電源スキームの作成	3-3
バッテリー電源の使用	3-4
バッテリーの状態の確認	3-4
ロー バッテリー警告への対応	3-5
バッテリー パックの再充電	3-5
バッテリー パックの最大限の活用方法	3-6
使用済みのバッテリー パックの処理	3-8
4 モデムおよびネットワーク接続	
モデムの使用	4-1
モデムの接続	4-2
お使いになる国よっての特別な制限事項	4-3
モデムの設定の変更	4-3
LAN（ローカルエリア ネットワーク）への接続	4-5
無線ネットワーク接続の確立（一部のモデルのみ）	4-6
無線通信のオン/オフの切り替え	4-7

5 追加デバイス

外付けデバイスの接続	5-1
PCカードの装着と取り外し	5-1
オーディオ機器への接続	5-3
ノートブック コンピュータへのテレビの接続 (一部のモデルのみ)	5-4
外部モニターへの画面の切り替え (一部のモデルのみ)	5-4
IEEE 1394デバイスへの接続 (一部のモデルのみ)	5-6
赤外線デバイスへの接続 (一部のモデルのみ)	5-7
追加RAM (メモリ) の取り付け	5-8
RAM拡張モジュールの取り付け	5-9
RAM拡張モジュールの取り外し	5-10
ハードドライブの交換	5-11
ハードドライブの交換	5-11
ハードドライブ ホルダの交換	5-12
新しいハードドライブの準備	5-12

6 トラブルシューティング

ノートブック コンピュータのトラブルシューティング	6-1
オーディオに関する問題	6-2
CDまたはDVDに関する問題	6-3
画面表示に関する問題	6-5
ハードドライブに関する問題	6-6
熱に関する問題	6-6
赤外線に関する問題	6-7
キーボードおよびポインティング デバイスに関する問題	6-8
LANに関する問題	6-9
メモリに関する問題	6-10
モデムに関する問題	6-11
PCカード (PCMCIA) に関する問題	6-15
パフォーマンスに関する問題	6-16
電源およびバッテリー パックに関する問題	6-18
印刷に関する問題	6-20
シリアル、パラレル、およびUSBに関する問題	6-21
起動に関する問題	6-23
無線に関する問題	6-25
ノートブック コンピュータの設定	6-27
セットアップユーティリティの実行	6-27

Web経由でのソフトウェアおよびドライバのアップデート	6-31
システム復旧機能	6-31
データの保護	6-32
オペレーティング システム (OS) CDでの修復	6-33
OS CDの再インストール	6-34
ドライバの再インストール	6-35
ソフトウェア アプリケーションの復元	6-35

索引

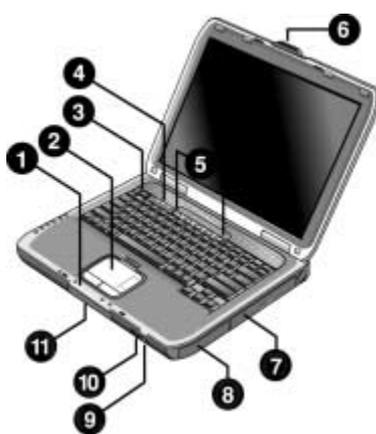
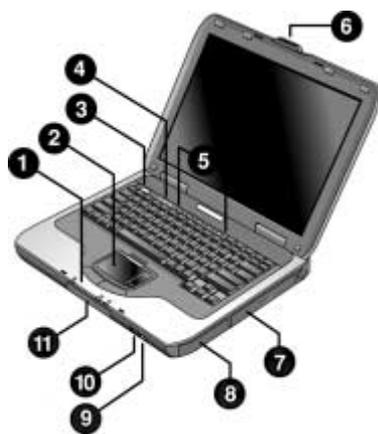
お使いになる前に

ノートブック コンピュータの各部

ノートブック コンピュータのコンポーネントは、お買い上げいただいた国や地域およびお選びになった機能により異なります。ここでは、一般的なモデルのノートブック コンピュータの標準的な外観について説明します。

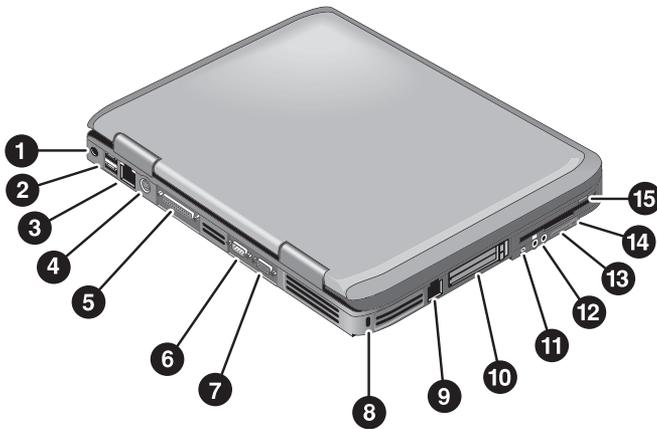
お買い上げになられたコンピュータに似ている図についての説明を参照してください。

前面および右側面の各部



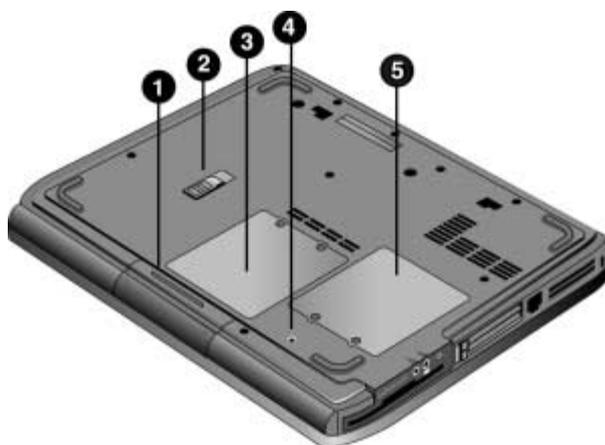
- | | | | |
|---|---|---|------------------------------------|
| ① | メイン ステータス ランプ (左から右へ): 電源モード、ハードドライブ アクティビティ、およびバッテリー | ⑦ | CD、DVD、またはその他のドライブ |
| ② | タッチパッド、スクロールパッド、クリック ボタン、およびオンオフ ボタン | ⑧ | バッテリー パック |
| ③ | 電源ボタン: ノートブック コンピュータのオン/オフを切り替えます | ⑨ | 無線オンオフ ボタンおよびインジケータ ランプ (一部のモデルのみ) |
| ④ | キーボード ステータス ランプ | ⑩ | 赤外線ポート (一部のモデルのみ) |
| ⑤ | ワンタッチ ボタン | ⑪ | ハードドライブ |
| ⑥ | ノートブック コンピュータ開閉ラッチ | | |

左側面および背面の各部



① ACアダプタ ジャック	⑨ RJ-11ジャック：モデム ケーブルを接続
② USBポート	⑩ PCカードおよびCardBusスロットならびにボタン（一部のモデルのみ）：スロットとボタンの場所はモデルによって異なります
③ RJ-45ジャック：ネットワーク ケーブルを接続	⑪ IEEE 1394ポート（一部のモデルのみ）
④ Sビデオ出力ジャック（一部のモデルのみ）	⑫ オーディオ ジャック（左から右へ）：外付けマイク、オーディオ出力（ヘッドフォン）
⑤ 平行ポート（LPT1）：平行レルプリンタなどの平行機器を接続（一部のモデルのみ）	⑬ 音量調節
⑥ シリアルポート（COM1）：シリアルマウス、モデム、プリンタなどのシリアル機器を接続（一部のモデルのみ）	⑭ オーディオミュート（消音）ボタン、オーディオミュートランプ
⑦ 外付けモニターポート	⑮ フロッピーディスクドライブ（一部のモデルのみ）
⑧ ケーブルロックスロット（セキュリティコネクタ）	

底面の各部



- | | |
|---------------|--|
| ① ハードドライブ | ④ リセット ボタン |
| ② バッテリー ラッチ | ⑤ ミニPCIカバー（内部にはユーザが操作できるコンポーネントはありません） |
| ③ RAM（メモリ）カバー | |

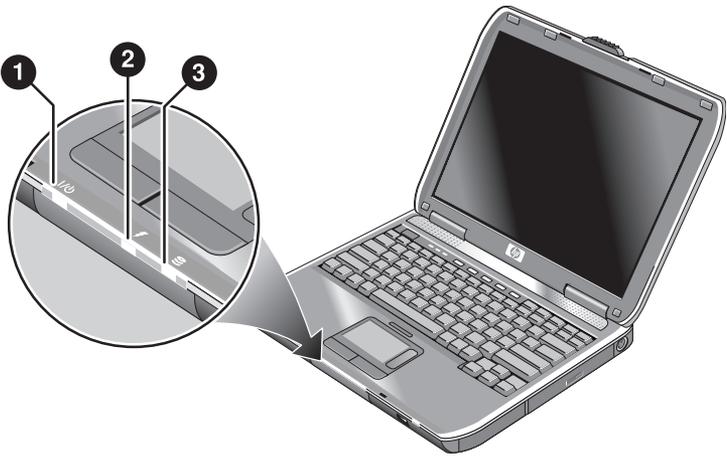


注意:システムが反応しなくなったりエラーメッセージが表示されたりすることを防ぐために、日本国内の無線デバイスの認定/承認機関でこのノートブック コンピュータ用に認定されたミニPCIデバイスのみを取り付けるようにしてください。デバイスを取り付けたときにエラーメッセージが表示される場合は、デバイスを取り外してコンピュータを元の状態に戻してから、サポート窓口にお問い合わせください。

ステータス ランプ

ノートブック コンピュータには、電源やバッテリーの状態、ドライブ アクティビティ、およびCaps LockやNum Lockなどキーボードの機能を表すさまざまなランプがあります。

コンピュータの前面にあるメイン ステータス ランプの位置とその意味は次のとおりです。



① 電源モード

- オン：コンピュータの電源が入っています（ディスプレイのみオフの場合もあります）
- 点滅：コンピュータはスタンバイ状態です
- オフ：コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態です

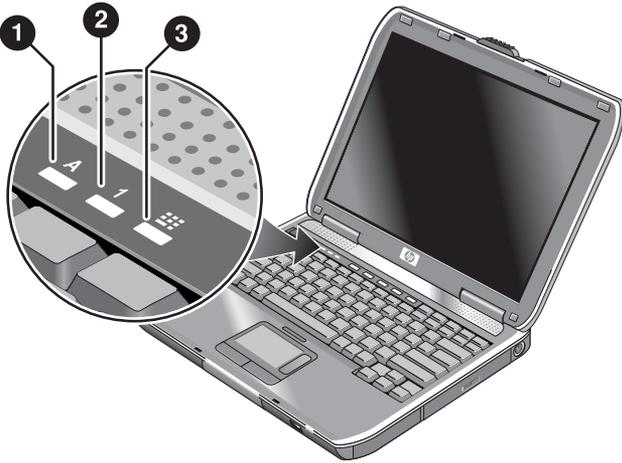
② ハードドライブ アクティビティ

オン：コンピュータがハードドライブにアクセスしています

③ バッテリー ステータス

- 緑色：ACアダプタが接続されていて、バッテリー パックはフル充電されています
- オレンジ色：ACアダプタが接続されていて、バッテリー パックが充電中です
- 点滅：ACアダプタが接続されていて、バッテリー パックがないかバッテリー パックに障害があります
- オフ：ACアダプタが接続されていません

キーボードの上部にあるキーボードステータスランプは、キーボードのロック状態を表します。



-
- ❶ **Caps Lockオン**：Caps Lockされています（アルファベットの大文字を入力するモードです）

 - ❷ **Num Lockオン**：Num Lockされています（内蔵テンキーパッドを使用するには、Keypad Lockもオンにする必要があります）

 - ❸ **Keypad Lockオン**：内蔵テンキーパッドが使用できる状態です（[Fn]+[F8]）。内蔵テンキーパッドからの数字入力を行うには、Num Lockもオンにする必要があります。Keypad LockがオンでNum Lockがオフの場合は、外付けテンキーパッドに表示されているようなカーソル移動機能がオンになります
-

ノートブック コンピュータのセットアップ



警告：人体への傷害を防ぐため、『快適に使用していただくために』をお読みください。このガイドでは、正しい作業環境の整え方や、操作する人の姿勢および健康や作業習慣について説明し、電気および機械に関する重要な情報を記載しています。このガイドは、弊社のWebサイト <http://www.hp.com/ergo> から入手でき、お使いのノートブック コンピュータのハードドライブ上または付属のDocumentation CD (ドキュメンテーションCD) にも収録されています。

ご購入後初めてノートブック コンピュータをセットアップするには、ACアダプタを接続してバッテリー パックを充電し、コンピュータの電源を入れてMicrosoft® Windows®のセットアッププログラムを実行します。

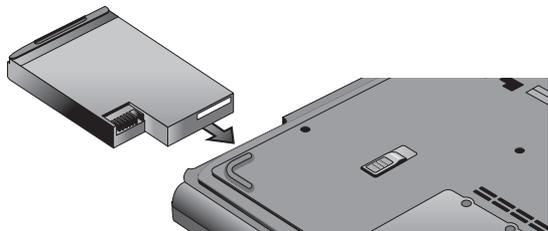
ステップ1：バッテリー パックの挿入



警告：バッテリー パックを改造したり穴を開けたりしないでください。破裂したり爆発したりして有害な化学物質を放出する恐れがありますので、バッテリー パックを火の中に投げないでください。バッテリー パックを廃棄する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しく処分してください。

バッテリー パックは次の手順で取り付けます。

1. コンピュータを裏返しにします。
2. バッテリー パックのコネクタ側をバッテリー コンパートメントに向けて挿入し、カチッと音がするまでしっかりとスライドさせて装着します。



ステップ2：AC電源への接続

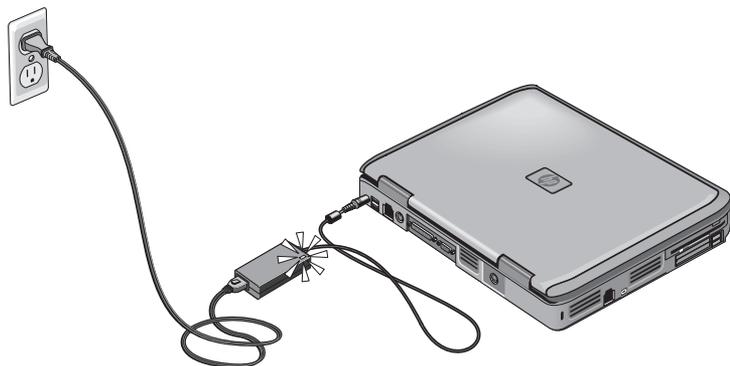


注意：お買い上げいただいたノートブック コンピュータに付属のACアダプタ（またはこのコンピュータの電源要件を満たすその他の承認されたアダプタ）を使用してください。誤ったACアダプタを使用すると、コンピュータやアダプタを損傷したりデータが失われたりすることがあり、保証が無効となる場合もあります。

1. ACアダプタをコンピュータに挿し込みます。
2. ACアダプタに電源コードを接続します。
3. 電源コードをコンセントに挿し込みます。コンピュータのバッテリーパックの充電が始まります。



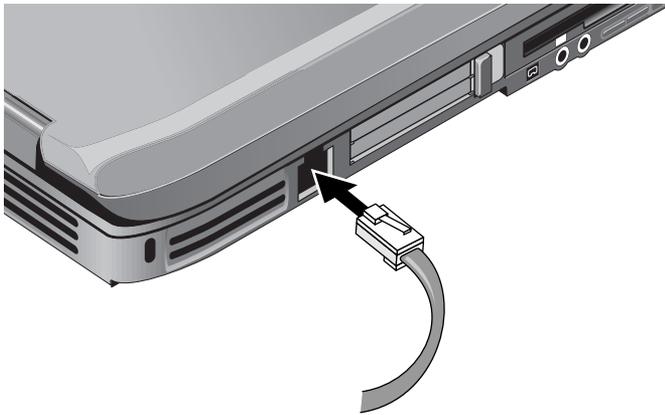
電源コードを抜くときは、まずコンセントから抜いてからACアダプタから抜いてください。



バッテリーパックを充電している間に、次の「[ステップ3：電話回線の接続](#)」に進みます。

ステップ3：電話回線の接続

1. 電話回線が、アナログ回線であることを確認します（PBXなどのデジタル回線は使用しないでください）。
2. 電話コード（RJ-11）を電話の差込口に接続します。
3. 電話コードのもう一方の端を、コンピュータのRJ-11モデム ジャックに挿し込みます。



モデムの使用方法について詳しくは、「[モデムの使用](#)」を参照してください。

ステップ4：ノートブックコンピュータの電源投入

キーボードの左上部にある電源ボタンを押します。コンピュータの電源が入り、Windowsが自動的に起動します。



バッテリー電源で動作中にノートブックコンピュータの電源が入らない場合は、バッテリーパックが充電されていないことが考えられます。ACアダプタを接続してから、もう一度電源ボタンを押してください。バッテリーパックが充電されるまで、数時間ACアダプタを接続したままにしておきます。充電時間は状態によって異なります。



警告：お使いのノートブック コンピュータは、パフォーマンスを最大限発揮した状態で、要件の多いアプリケーションを動作させることができますように設計されています。多量の電力を消費するため、通常、長時間使用するとコンピュータ内の温度が上昇します。ユーザが健康を損なったり火傷したりする恐れがありますので、通気孔をふさいだり、長時間ひざの上でノートブック コンピュータを使用したりしないでください。お使いのノートブック コンピュータは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950) で定められた、ユーザが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。

ステップ5：Windowsのセットアップ

お買い上げいただいたノートブック コンピュータのハードドライブには、Microsoft Windowsオペレーティング システムがあらかじめインストールされています。購入後初めてコンピュータの電源を入れたときにWindowsのセットアッププログラムが自動的に起動され、設定をカスタマイズできます。

1. 画面に表示されるセットアップ プログラムの指示に従って操作します。プロダクトIDを入力するように表示された場合は、コンピュータの裏面のプロダクトIDを入力します。
2. モデムの使用国または地域の設定を確認します。

Windows XPをお使いの場合：[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタおよびその他のハードウェア]→[電話とモデムのオプション]の順に選択して、適切な設定を指定してください。

Windows 2000をお使いの場合：[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電話とモデムのオプション]の順に選択して、適切な設定を指定してください。

ノートブック コンピュータの操作

電源ボタンを使用してノートブック コンピュータのオン/オフを制御できます。ただし、電源の状態や使用している接続の種類、および起動時間などにより、他の方法でコンピュータのオン/オフを制御することもできます。この章ではいくつかの方法について説明します。

デフォルトの電源設定

電源モード	このモードにする方法	機能
オン：電源ステータスランプが点灯します	電源ボタンを短く押します	コンピュータの電源を入れます
オフ：電源ステータスランプが消灯します	[スタート]→[シャットダウン]→[シャットダウン]→[OK]の順に選択します。システムからの応答が停止してWindowsのシャットダウン手順を使用できない場合は、電源ボタンを4秒以上押したままにするとコンピュータの電源が切れます	コンピュータの電源を切ります
スタンバイ：電源ステータスランプが点滅します	[スタート]→[シャットダウン]→[スタンバイ]→[OK]の順に選択します または システムがタイムアウトするまで待ちます	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大幅に節電します ■ ディスプレイおよびその他のコンポーネントの電源を切ります ■ 現在の状態をRAMに保存します ■ すばやく再起動できます ■ ネットワーク接続を回復します
ハイバネーション：電源ステータスランプが消灯します	[Fn]+[F12]キーを押します または システムがタイムアウトするまで待ちます	<ul style="list-style-type: none"> ■ 最大限に節電します ■ 現在の状態をハードドライブに保存して電源を切ります ■ ネットワーク接続を回復します

これらの電源モードの機能をカスタマイズすることもできます。このガイドの「[バッテリーパックおよび電源の管理](#)」の章を参照してください。

ノートブック コンピュータのリセット

Windowsまたはノートブック コンピュータが応答しなくなり電源が切れない場合は、以下の手順を次の順番で試してください。

- 可能であれば、Windowsをシャットダウンします。[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを押して、[シャットダウン]または[再起動]を選択します。

または

- ディスプレイが切れるまで、電源ボタンを4秒以上押し続けます。保存されていないデータは失われます。その後、もう一度電源ボタンを押して再起動します。

または

- コンピュータの裏面にあるリセット ボタンに、伸ばしたペーパークリップの先を挿し込み、その後、電源ボタンを押して再起動します。

コンピュータをポートリプリケータに接続している場合は、ポートリプリケータの左側面にあるリセット ボタンを押すことでコンピュータをリセットすることもできます。

ブート デバイスの変更

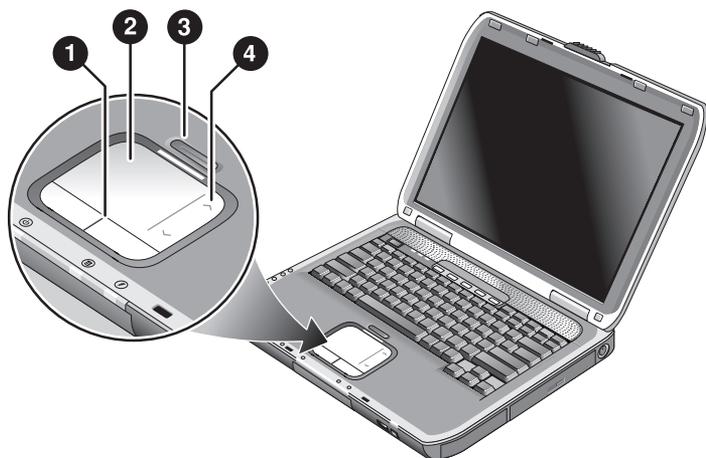
通常、ノートブック コンピュータは内蔵ハードドライブからブート（起動）します。フロッピーディスク ドライブやCD-ROMドライブ、または内蔵ネットワーク インタフェース カードからブートさせることもできます。

1. [スタート]→[シャットダウン]→[再起動]の順に選択します。
2. ログ画面が表示されたら、[Esc]キーを押してブートメニューを表示させます。
3. 矢印キーを使用してブートデバイスを選択して[Enter]キーを押します。

特定のデバイスがある場合、常にそのデバイスからブートするように設定するには、BIOSセットアップユーティリティを使用してブート順序を変更します。このガイドの「トラブルシューティング」の章の「ノートブック コンピュータの設定」を参照してください。

タッチパッドの使用

タッチパッドには、文字入力中にタッチパッドに触れたりして意図せずにポインタを動かしてしまうことを防ぐためのオンオフ ボタンがあります。タッチパッドをオフにするとインジケータ ランプが消灯します。



-
- ① クリック ボタン：クリック ボタンは、標準マウスの左ボタンおよび右ボタンと同じように機能します
 - ② タッチパッド（触れることによって操作するポインティング デバイス）
 - ③ タッチパッド オンオフ ボタンおよびインジケータ ランプ
 - ④ スクロール パッド：スクロール パッドで画面を上下にスクロールさせて、アクティブなウィンドウの内容を表示できます
-

タッチパッドのタップによるクリック機能の使用

タッチパッドのタップによるクリック機能は、デフォルトで有効になっています。この機能を無効にするには、以下の手順に従って操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]の順に選択します。[マウスのプロパティ]ダイアログ ボックスが表示されます。
2. [タップ]タブを選択します。
3. 左側面のパネルにある[タップ]チェックボックスをオフにします。
4. [適用]→[OK]の順に選択します。

これで、タップによるクリック機能が無効になります。

ファンクション ホットキーの使用

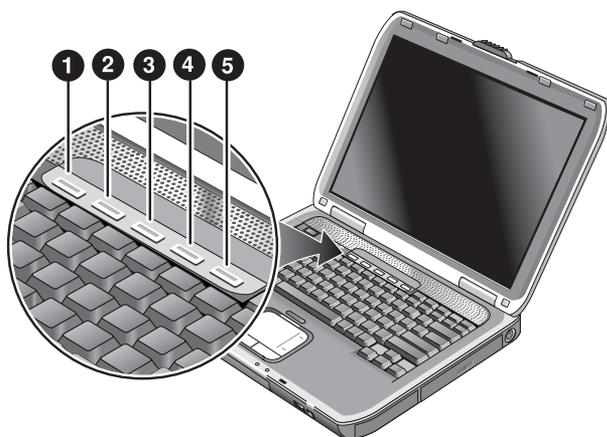


[Fn]キーとその他のキーの組み合わせにより、さまざまなシステム制御を行えるホットキーと呼ばれるショートカット キーになります。ホットキーを使用するには、[Fn]キーを押したまま適切な2つ目のキーを押し、次に2つとも離します。

ホットキー	機能
[Fn]+[F1]	ディスプレイの輝度を下げます
[Fn]+[F2]	ディスプレイの輝度を上げます
[Fn]+[F5]	外付けモニタのオン/オフを切り替えます
[Fn]+[F8]	内蔵テンキーパッドのオン/オフを切り替えます。外付けキーボードには影響ありません。Num Lockがオンの場合は数値入力が可能です。Num Lockがオフの場合は外付けテンキーパッドに示されているようなカーソルコントロールがアクティブになります
[Fn]+[F12]	ハイバネーションを起動します
[Fn]+[NumLock]	スクロール ロックのオン/オフを切り替えます
[Fn]+[Page Up]	オーディオ音量を上げたり、ミュート（消音）を解消したりします
[Fn]+[Page Down]	オーディオ音量を下げます
[Fn]+[Backspace]	オーディオ出力のミュートのオン/オフを切り替えます

ワンタッチ ボタンの使用

お使いのノートブック コンピュータには、1度押すだけでアプリケーションを起動したり、文書やWebを開いたりできるワンタッチ ボタンが5つ装備されています。



アプリケーション、文書、またはWebサイトを開くには、対応するワンタッチ ボタンを押します。

ワンタッチ ボタンは次の手順でプログラムできます。

1. Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[すべてのプログラム]→[Utilities]→[One-Touch]→[ワンタッチ ボタンの設定をする]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[プログラム]→[Utilities]→[One-Touch]→[ワンタッチ ボタンの設定をする]の順に選択します。
2. [ワンタッチ]タブで再プログラムしたいボタンを選択します。
3. ボタン名を入力して、ボタンを押したときに開きたいアプリケーション、文書、フォルダ、またはWebサイトを選択します。
4. ワンタッチ ボタンを押したときに画面にメッセージが表示されるようにするには、[オンスクリーンディスプレイ]タブでそのオプションを選択します。

[Windows]キーおよび[アプリケーション]キーの使用



[Windows]キーを押すと、Windowsの[スタート]メニューが開きます。これは、タスクバーの[スタート]ボタンを選択したときと同じです。



[アプリケーション]キーは選択している項目のショートカットメニューを開きます。これは、選択している項目を右クリックしたときと同じメニューです。

キーの組み合わせ

機能

[Windows]キー+[E]

Windowsエクスプローラを起動します

[Windows]キー+[F1]

Windowsのヘルプを起動します

[Windows]キー+[F]

Windowsの検索機能を起動します

[Windows]キー+[M]

すべてのウィンドウを最小化します

[Shift]+[Windows]キー+[M]

すべての最小化されたウィンドウを元のサイズに戻します

[Windows]キー+[R]

Windowsの[ファイル名を指定して実行]ウィンドウを開きます

CDおよびDVDの使用

CDまたはDVDの挿入と取り出し



注意：CDやDVDからの読み出し中は、CDやDVDを取り出さないでください。読み出し中に取り出すと、ノートブック コンピュータからの応答がなくなり、データを失う可能性があります。ディスクやドライブへの損傷を防ぐため、CDやDVDはやさしく、ただし、しっかりと軸にはめ込んでください。



CDまたはDVDドライブの位置はモデルによって異なります。

1. CDまたはDVDドライブ前面のボタンを押します。このドライブを初めて使用するときは、ボール紙などの緩衝材が入っていないかどうか確認し、入っていた場合は取り外してから使用してください。
2. CDまたはDVDを、文字や絵が書いてある面を上にしてドライブに置き、軸にはまるようにやさしく押し込みます。
または
CDまたはDVDを取り出します。
3. トレイをスライドさせてモジュールの中に戻して閉じます。





ノートブック コンピュータの電源が入っていない場合、手でドライブを開いてCDやDVDを取り出すことができます。ペーパー クリップを伸ばしたような金属の棒を、ドライブの前面にある取り出し穴に挿し込みます。

DVDムービーの再生

お使いのノートブック コンピュータにDVDまたはDVDの読み出しが可能なドライブが装備されている場合は、DVDムービーの再生を可能にするDVDプレーヤ ソフトウェアが付属しています。

- » Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[すべてのプログラム]→[InterVideo WinDVD]→[InterVideo WinDVD]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[プログラム]→[InterVideo WinDVD]→[InterVideo WinDVD]の順に選択します。



バッテリー電源でムービーを再生する場合に最適なパフォーマンスを得るには、[コントロール パネル]から電源設定を[ポータブル/ラップトップ]にします。



DVDには、ディスクのデータとしてリージョン（地域）コードが埋め込まれているものがあります。このコードにより、そのDVDが販売された以外の国や地域でDVDムービーが再生できなくなります。別のリージョン用のDVDを再生しようとすると、リージョンエラーが表示されます。

ほとんどのDVDドライブでは、ある一定の回数（通常は4回以内）まではリージョンコードを変更できるようになっています。変更できる上限の回数に達した場合、その設定がDVDドライブにハードコードとして書き込まれ、以後変更できなくなります。この状況を変更する場合の費用等は、弊社の保証対象ではありません。リージョンコードの設定について詳しくは、お使いのDVDプレーヤ ソフトウェアのヘルプを参照してください。

DVDメディアへの書き込み（一部のモデルのみ）

お使いのノートブック コンピュータにDVD+RW/Rドライブが装備されている場合は、DVDメディアへの書き込みを行う前に、コンピュータに付属のCDからDVD作成ソフトウェアをインストールする必要があります。

DVD+RメディアまたはDVD+RWメディアに書き込みをする場合は、以下のガイドラインに従ってください。

- ノートブック コンピュータは、平らで安定した場所に置くようにします。
- ACアダプタがノートブック コンピュータおよび電源コンセントに接続されていることを確認します。
- CD作成ソフトウェア（データ ディスクへの書き込み時）またはDVD作成ソフトウェア（ビデオ ディスクへの書き込み時）以外の、すべてのアプリケーションを終了します。

CDの作成またはコピー

お使いのノートブック コンピュータにDVD+RW/Rドライブ、DVD/CD-RWコンボドライブ、またはCD-RWドライブが装備されている場合は、CDをコピーしたり作成したりするためのCDソフトウェアが付属しています。ソフトウェアに付属の指示に従って操作してください。メディアによって読み出しおよび書き込みの品質が異なる場合があります。

ノートブック コンピュータのセキュリティ

パスワードによる保護の設定

Windows および BIOS セットアップ ユーティリティで設定可能なパスワードを設定しておくこと、他の人が許可なしにノートブック コンピュータを使用することを防げます。このガイドの「[トラブルシューティング](#)」の章の「[ノートブック コンピュータの設定](#)」の項目を参照してください。完全に保護するには、BIOS セットアップ ユーティリティとともに、Windows からパスワードを設定します。

パスワードによる保護を解除するには、新しいパスワードとして何も文字や数字を入力しない状態でその設定を保存します。

Windows XPをお使いの場合

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ユーザー アカウント]の順に選択して、自分のアカウントを選択します。
2. [パスワードのリセット]を選択してパスワードを設定します。
3. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
4. [詳細設定] タブで、スタンバイから復帰するときにパスワードの入力を求めるオプションを選択します。

Windows 2000をお使いの場合

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[ユーザーとパスワード]の順に選択して、自分のアカウントを選択します。
2. [パスワードの設定]を選択してパスワードを設定します。
3. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]の順に選択します。
4. [詳細] タブで、スタンバイから復帰するときにパスワードの入力を求めるオプションを選択します。

ノートブック コンピュータのロック

ノートブック コンピュータの電源が入っているときに、他の人が許可なくアクセスすることを防ぐには、コンピュータから離れる前にコンピュータをロックするか、Windowsのパスワードを有効にしてスクリーンセーバを設定しておきます。コンピュータは次の方法でロックできます。

- ワンタッチ ボタンをクイック ロック機能に設定している場合は、そのボタンを押します。

または

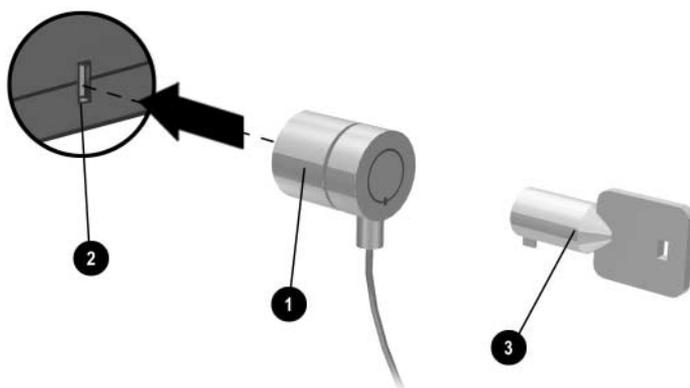
- [Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを押して、[コンピュータのロック]を選択します。

コンピュータのロックを解除するには、通常のログオン手順で操作します。

別売のセキュリティ ケーブルの取り付け

お使いのノートブック コンピュータには、別売のセキュリティ ケーブルを取り付けるためのスロットがあります。

1. テーブルの脚など、固定されているものにケーブルを巻きつけます。
2. ケーブルの錠の部分でコンピュータのセキュリティ ケーブル スロットに挿し込みます。
3. 錠でロックした後、錠をコンピュータから離れた安全な場所に保管しておきます。



コンピュータ ウィルスからの保護

ウィルス対策用ソフトウェアは、データの保全するために役立ちます。これは、Webを利用する場合は特に重要です。

お持ちのノートブック コンピュータには、Norton AntiVirusソフトウェアが付属しています。

新しいウィルスが次々と現れるため、プログラムのウィルス定義ファイルを定期的にアップデートすることをお勧めします。Norton AntiVirusのアップデート ファイルは、インターネットのWebサイト

<http://www.symantec.com>から入手できます。また、詳しい説明は、Nortonのオンライン ヘルプから入手できます。

ハードドライブのロック

お使いのノートブック コンピュータでは、情報を保護するために内蔵ハードドライブをロックすることができます。



注意：ハードドライブをロックすると、現在のBIOSユーザ パスワード（または管理者パスワードしか設定していない場合は管理者パスワード）がハードドライブにエンコードされます。**ロックしたハードドライブを別のコンピュータに取り付けた場合、ドライブのパスワードと一致するBIOSユーザ（または管理者）パスワードを設定するまで、ハードドライブにアクセスできません。**ドライブと同じパスワードを設定した後は、コンピュータ（およびドライブ）のパスワードを変更できます。パスワードを忘れてしまった場合は、データを回復できません。パスワードを忘れたためにハードドライブの交換が必要となった場合は、**保証の対象外**です。

1. [スタート]→[シャットダウン]→[再起動]の順に選択します。
2. ログ画面が表示されたら、[F2]キーを押してBIOSセットアップユーティリティを起動します。
3. [Security]（セキュリティ）メニューから、[Password Required to Boot]（パスワードが必要）オプションを有効にします。

4. [Security]メニューから、内蔵ハードドライブのロックを有効にするオプションを選択します。
5. [F10]キーを押して設定を保存し、BIOSセットアップ ユーティリティを終了します。

ノートブック コンピュータの手入れ

日常の使用でのノートブック コンピュータのメンテナンスおよび物理的な損傷やデータの損失を防ぐため、以下の推奨事項をお読みください。

ハードドライブの保護

他の内部コンポーネント同様、ハードドライブは壊れないわけではなく、取り扱い方法や操作を誤ると損傷する可能性があります。

- ぶついたりゆさぶったりしないでください。
- 振動の多い場所を移動中にノートブック コンピュータを使用しないでください。
- コンピュータを持ち運ぶ場合は、事前にスタンバイを起動するか電源を切ってください。これによりハードドライブの電源が切れます。ハードドライブの動作中に、硬いものの上に数センチの高さから落とすだけで、データが壊れたりハードドライブが損傷したりする可能性があります。
- 衝撃から守るため、コンピュータは緩衝材などで保護されたケースに入れて持ち運んでください。
- コンピュータは乱暴に置かないでください。

ノートブック コンピュータのメンテナンス

- ノートブック コンピュータの周囲の通気性を確保してください。周囲や下部からの空気の流れを妨げないように、コンピュータはいつも平らな面に置いてください。
- キャリング ケースやその他の閉ざされた場所に入れる場合は、常にあらかじめコンピュータの電源を切るかハイバネーションを起動してください。
- コンピュータのディスプレイをつかんだりディスプレイを持ったりしないでください。
- 雨や雪など悪天候の屋外ではコンピュータを使用しないでください。コンピュータが冷えている場合は、結露を防ぐため、徐々に暖めてください。
- 最適のパフォーマンスを得るためにバッテリー パックのメンテナンスを行ってください。詳しくは、「[バッテリー パックおよび電源の管理](#)」の章を参照してください。

データの保護

- システムの起動および終了処理中は、オペレーションを中断することを避けるため、ポインティング デバイスやその他のデバイスを使用しないでください。
- 定期的にデータのバックアップを取ってください。ファイルをフロッピーディスク、CD、DVDなどのメディアやネットワーク ドライブにコピーしてください。
- お使いのノートブック コンピュータに付属のNorton AntiVirusプログラムのようなウイルススキャン用プログラムを使用して、ファイルおよびオペレーティング システムが正常かどうか確認してください。
- ディスクのプロパティ ウィンドウの[ツール]タブでディスクをチェックしてください。

ディスプレイを長持ちさせる方法

- [Fn]+[F1]キーを使用して、快適さを損なわない範囲でディスプレイの輝度をなるべく暗めに設定します。
- オフィスの席や決まった場所で作業する場合は外付けモニタを接続し、キーボードの上部にあるTV Now!ワンタッチ ボタンを押して内蔵ディスプレイをオフにします。
- 外付けモニタを使用していない場合は、外部電源使用時およびバッテリー電源使用時のモニタをオフにするまでのタイムアウト時間を、気にならない程度になるべく短く設定しておきます。
- スクリーン セーバなどディスプレイをオフにしたりスタンバイにしたりすることの妨げになるソフトウェアを使用しないようにします。または、スクリーンセーバを使用する場合は、ある程度の時間が経過したらディスプレイをオフにするオプションを有効に設定しておきます。
- ディスプレイをオフにしたりスタンバイにしたりするためのタイムアウトは常に有効にしておきます。
- 外部電源に接続していて外付けモニタを使用していない場合、使用していないときはノートブック コンピュータをスタンバイ モードにしておきます。

ノートブック コンピュータの掃除

- ノートブック コンピュータを掃除するときは、水または水で薄めた中性洗剤で湿らせたやわらかい布を使用してください。水分はよく絞り、ケースに水が入らないように十分気をつけてください。
- 研磨剤入りのクリーナは、特にディスプレイには、使用しないでください。また、ディスプレイに直接クリーナを使用しないでください。汚れがひどい場合は、クリーナをつけたやわらかい布でディスプレイをそっと拭きます。

バッテリー パックおよび電源の管理

節電設定

バッテリー電源でノートブック コンピュータを使用している場合、パフォーマンスを損なわずに動作時間を最大限に延ばすことができます。お使いのコンピュータには、使用電力を減らしバッテリー パックの寿命を延ばすことに役立つように設計されています。

電源が入っている状態で使用していないときは、ある一定の時間が経過した後、コンピュータは自動的に節電モードに入ります。節電モードに入るまでの時間は、使用状況に合わせて調整できます。

ノートブック コンピュータの自動電源管理

お使いのノートブック コンピュータは、自動的にハイバネーション（休止状態）およびスタンバイを起動し、Windows で設定した値に基づいてハードドライブやディスプレイの電源を切ります。

状況	結果	復帰方法
ある一定の期間、キーボード、ポインティング デバイス、またはその他の入力装置が使用されなかった	ディスプレイがオフになる： バッテリー電力を節約しディスプレイの寿命を延ばすため、ディスプレイがオフになります	任意のキーを短く押すかポインティング デバイスを動かすとディスプレイがオンになります
ある一定の期間、ハードドライブへのアクセスがなかった	ハードドライブがオフになる： 通常ディスプレイがオフになった少し後にオフになります	コンピュータを使い始めるとハードドライブがオンになります
ある一定の期間、入力装置が使用されず、ハードドライブへのアクセスもなく、ポート（シリアル、パラレル、または赤外線）も使用されなかった	スタンバイが起動される： 現在の状態を RAM に保存し、バッテリー電力を節約するためにディスプレイとその他のコンポーネントをオフにします	電源ボタンを短く押すと元の状態に戻ります
ある一定の期間、コンピュータがスタンバイ状態だった	ハイバネーションが起動される： 現在の状態をハードドライブに保存してコンピュータの電源を切ります	電源ボタンを押すと元の状態に戻ります



注意：スタンバイが起動される前に、作業状態を保存する習慣をつけることをお勧めします。スタンバイ中にノートブック コンピュータの電源が切れると、RAM に保存されている情報は失われます。

バッテリー電力が非常に低くなった場合にも、ノートブック コンピュータはハイバネーションを起動します。この後ハイバネーションから復帰すると、すべてのデータは保存されていますが一部の機能が使用できない状態になります。通常の動作状態に戻すには、ACアダプタを使用してコンピュータを外部電源に接続するか充電済みのバッテリー パックを装着してからいったんコンピュータの電源を切り、再起動してください。

タイムアウト設定値の変更および電源スキームの作成

コンピュータのコンポーネントの電源が自動的に切れたり節電モードに入ったりするまでのタイムアウトの時間を調整することができます。この設定は、電源スキームとして保存できます。

1. **Windows XPをお使いの場合**：[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
Windows 2000をお使いの場合：[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]の順に選択します。
2. [電源設定] タブを選択して、設定値をカスタマイズします。タイムアウトを無効にしたい場合は、[なし]を選択します。詳しくは、Windowsのヘルプを参照してください。

電源スキームとして設定を保存するには、[名前を付けて保存]を選択してスキームの名前を入力します。



注意：ノートブック コンピュータのバッテリー電力が切れた場合に保存されていないデータがすべて失われてしまいますので、[電源オプション]の設定で、ハイバネーション（休止状態）のサポートは無効にしないでください。

バッテリー電源の使用

バッテリーの状態の確認

バッテリー ステータス ランプでの確認

- » ノートブック コンピュータのバッテリー ステータス ランプの状態を確認します。このガイドの1-2ページを参照してください。

Windowsのタスクバーでの確認

Windowsのタスクバーには、バッテリーパックの詳しい情報がわかる電源アイコンを表示させることができます。詳しくは、Windowsのヘルプを参照してください。AC電源に接続されていないときは、アイコンはバッテリーの形になります。

- バッテリー電力の残量を表示させるには、ポインタをアイコンの上に移動させます。バッテリー残量が、パーセンテージか残り時間で表示されます。
- 電源アイコンを選択すると、[バッテリー メーター]ウィンドウが開きます。

Windowsの[コントロール パネル]での確認

- » Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]の順に選択し、[電源メーター]タブを選択してバッテリーパックの状態を確認できます。[アラーム]および[詳細]タブで、電源に関するその他のオプションを設定できます。

バッテリーパックでの確認

1. コンピュータからバッテリーパックを取り外します。バッテリーパックの位置については、このガイドの「**お使いになる前に**」を参照してください。
2. バッテリーパック側面のコンタクトパッドを押します。点灯したランプの数でバッテリー残量がわかります(ランプ1つがそれぞれフル充電の20%を表します)。

ロー バッテリー 警告への対応

バッテリー電力の残量が非常に低いレベルになると、自動的に警告が発せられます。まず、高音のビープ音が鳴るか画面に警告メッセージが表示されます。すぐに外部電源に接続するなどしなかった場合は、次にハイバネーションが起動されます。

このようにしてノートブック コンピュータがハイバネーションになった場合は、次のどちらかの操作をするまでコンピュータの電源が入らなくなります。

- バッテリー パックを充電済みのものと交換する
- ACアダプタを使用して外部電源に接続する



外部電源に接続すれば、バッテリー パックの充電中もノートブック コンピュータの操作を続けられます。

バッテリー パックの再充電



注意：ACアダプタは、ACコンセントに接続していると常に暖かい状態です。また、バッテリー パックの再充電中は、ノートブック コンピュータの温度が上がります。バッテリー パックが過熱する可能性がありますので、バッテリー パックの再充電はコンピュータをブリーフケースやその他の狭いスペースに入れた状態では行わないでください。

- » ACアダプタをノートブック コンピュータに接続し、電源コードをコンセントに接続します。

再充電には数時間かかる場合があります。再充電中にコンピュータを使用している場合は、充電時間が長くなる可能性があります。

フル充電されたバッテリー パックでの動作時間は、コンピュータのモデル、電源のオプションの設定、および使用状況によって異なります。

バッテリーパックの最大限の活用方法

バッテリー電力をできるだけ長持ちさせるには、以下の推奨事項を参照してください。

- CD-ROMやDVD-ROMドライブまたはPCカードやモデムなど外部接続を行っている場合は特に、ACアダプタを使用して外部電源に接続します。
- [Fn]+[F1]キーを使用して、快適さを損なわない範囲でディスプレイの輝度をなるべく暗めに設定します。
- 少しの間ノートブック コンピュータを使わない場合は、いつもスタンバイを起動するようにします。
- 1日以上コンピュータを使う予定がなく、現在の状態を保存しておきたい場合は、ハイバネーションを起動します。
- 節電に重点をおいた自動タイムアウトを設定しておきます。コンピュータにマルチスピードプロセッサが装備されている場合は、バッテリー電源使用中は低速で動作するようにします（デフォルトではバッテリー電力を節約するように設定されています）。
- お使いのコンピュータに無線オンオフ ボタンが装備されている場合は、使用していないときは無線機能をオフにします。オンオフ ボタンを押してランプを消灯させます。
- ネットワーク カードのようなPCカードを装着している場合、使用していないときには取り外します。PCカードの中には、使用していても大量の電力を消費するものもあります。
- シリアル ポートやPCカードにアクセスするようなアプリケーションを使用している場合は、作業が終了したらアプリケーションも終了させます。

さらに、バッテリー パックを長持ちさせるには、以下の事項を参照してください。

- 長期間にわたってバッテリー パックを使用しないまま放置しないでください。複数のバッテリー パックをお持ちの場合は、交換して順番にお使いください。
- コンピュータを使用していないときはACアダプタを取り外します。
- 2週間以上ノートブック コンピュータを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、バッテリー パックをコンピュータから取り出して別々に保管します。



注意: バッテリー パックの損傷を防ぐため、長期間にわたって高温の場所に放置しないでください。

- 高温の場所にバッテリー パックを保管すると、自然放電の速度が速まります。保管中にバッテリー パックが放電することを抑えるには、バッテリー パックを気温や湿度の低い場所に保管します。
- バッテリー 充電情報の表示を正確に保つために、1か月以上保管したバッテリー パックを使用するときは、最初にバッテリー ゲージの調整を行ってください。
- 高温の環境でバッテリー パックを使用したり充電したりしないでください。

使用済みのバッテリーパックの処理



警告：化学薬品による火傷や発火の恐れがありますので、バッテリーパックをつぶしたり、穴を開けたり、接点をショートさせたりすることは絶対におやめください。また、60℃より高温の環境に放置したり、水や火の中に捨てたりしないでください。

日本では、バッテリーパックを処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しく廃棄またはリサイクルしてください。

バッテリーパックの使用上の注意と廃棄の方法、および各国の規定に関する情報の全文は、Documentation CDに収録されている『規定および安全に関するご注意』に記載されています。

モデムおよびネットワーク接続

モデムの使用

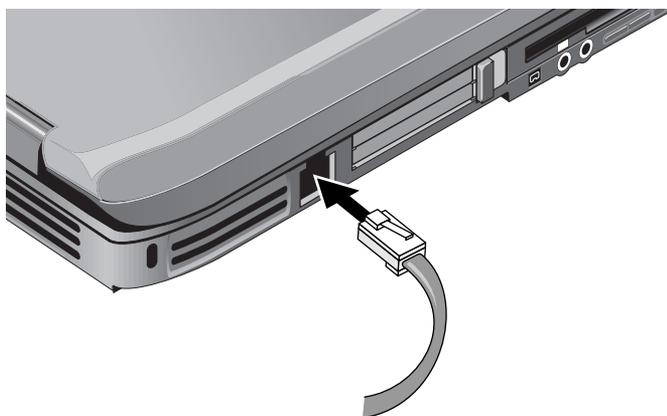
モデムを電話回線に接続すると、他のコンピュータと通信することができます。また、インターネットに接続したり、電子メールやファックスを送受信したりすることも可能です。お使いのノートブックコンピュータには、モデムとともに使用するソフトウェアプログラムが付属しています。

- Internet Explorer (インターネット エクスプローラ) : インターネットのWebサイトを参照 (ブラウズ) するときに使用します。
- Outlook Express (アウトルック エクスプレス) : 電子メールでのメッセージを送受信するときに使用します。
- WindowsのFax機能でファックスを送受信できます。

最適のパフォーマンスを得るには、V.90またはV.92互換モデムを使用しているISP (インターネット サービス プロバイダ) やモデム ネットワークに接続することをお勧めします。V.90およびV.92のデータ通信速度は最大56 Kbpsです。V.90またはV.92をサポートする電話番号一覧は、ご契約のISPにお問い合わせください。(V.92では、モデムのオンホールドテクノロジーが有効であるため、インターネットに接続中に電話がかかってきた場合にインターネットのセッションが中断され、通話が終了するとセッションが再開されます。)

モデムのダウンロードの最高速度がより早い場合でも、ファックス送受信の最高速度は14.4 Kbpsです。

モデムの接続



△ 注意: お使いのノートブックコンピュータの内蔵モデムは、複数の回線を共有している回線や構内電話回線（PBX）システムでは使用できないことがあります。また、硬貨を入れる方式の公衆電話には接続できません。さらにパーティーラインと呼ばれるシステムでは機能しません。これらの回線に接続すると、過剰電流が流れて内蔵モデムの故障につながる場合があります。お使いの電話回線の種類がわからない場合は、事前に電話会社にお問い合わせください。

お使いになる国よっての特別な制限事項

- 多くの国では、モデムからサービス プロバイダへの接続が何度か失敗すると、ブラックアウトと呼ばれる接続不可能な時間を設定しています。失敗の回数および次に接続できるまでの時間は、国によって異なります。詳しくは電話会社にお問い合わせください。

たとえば、イタリアで接続しようとした場合、サーバへの接続に失敗したりキャンセルしたりすると、同じ番号をダイヤルするには1分間待つ必要があります。その前に電話すると、「delay (遅延)」というメッセージが表示されます。接続に4度失敗すると、同じ番号をダイヤルするには1時間待つ必要があります。その前に電話すると、「black list (ブラック リスト)」というメッセージが表示されます。

- モデムを使用する場合、市販のサージプロテクタを使用すると、落雷などによる異常電流からノートブック コンピュータを保護することができます。モデムを使用するときは適切なサージプロテクタをモデム ケーブルに接続することをお勧めします。

モデムの設定の変更

お使いのノートブック コンピュータのモデムは、ほとんどの地域の電話システムおよびモデムと互換性があるようにあらかじめ設定されています。ただし、その地域での条件に適合するようにモデムの設定を変更する必要がある場合もあります。モデムをお使いになる地域での条件についてご質問がある場合は、電話会社にお問い合わせください。



注意: 日本でお買い上げいただいた日本語モデルのコンピュータの内蔵モデムは、日本国内の通信規格に準拠するように設定されています。このモデムを日本国内で使用する場合は、必ずこのまま日本用の設定でお使いください。日本以外の国用の設定で使用すると、電気通信事業法(技術基準)に違反する行為となります。

- **[コントロール パネル]**：Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択して表示される[電話とモデムのオプション]でさまざまなモデムの設定を変更できます。[モデム]タブで、接続速度を設定するには[プロパティ]ボタンを、ダイヤルのオプションを設定するには[ダイヤル情報]タブの[編集]ボタンを選択します。
- **通信ソフトウェア**：多くの通信アプリケーションには、モデム設定を制御するためのオプションがあります。お使いのソフトウェアのヘルプを参照してください。
- **ATコマンド**：モデムのATコマンドを使用すると、モデムの動作のさまざまな面を制御できます。ATコマンドとは、特定の状態を設定するためにモデムに送られる特殊な文字列です。ATコマンド文字列は、通常「AT」という文字から始まります。内蔵モデムのATコマンド一覧については、Documentation CDを参照してください。
 1. Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択して[電話とモデムのオプション]を開きます。
 2. [モデム]タブで[プロパティ]ボタンを選択します。ATコマンドの文字列を[詳細設定] (Windows XPの場合) または[詳細] (Windows 2000の場合) タブで追加情報として入力できます。

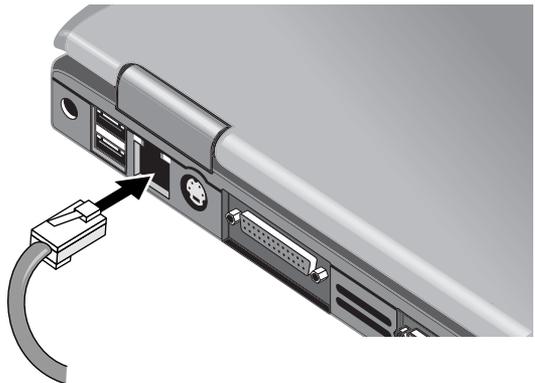
LAN（ローカル エリア ネットワーク）への接続

LANに接続することにより、社内ネットワークのプリンタやファイルサービスなどのネットワーク リソースを利用できます。また、LAN経由でインターネットに接続できる場合もあります。

LANに接続するには、以下の手順で操作します。

1. 接続しようとしているLANが、Ethernet 10Base-T（10 Mbps）または100Base-TX（100 Mbps）接続をサポートしていることを確認します。
2. 別売のLANケーブルをノートブック コンピュータに装備されているLANポートに挿し込みます。ケーブルにはRJ-45コネクタが必要です。
3. Windowsにより自動的にLAN接続が検出され設定されます。設定を編集するには、[コントロール パネル]の[ネットワークとインターネット接続]（Windows XPの場合）または[ネットワークとダイヤルアップ接続]（Windows 2000の場合）を選択します。

LAN接続の設定と使用については、Windowsのヘルプを参照してください。[スタート]→[ヘルプとサポート]（Windows XPの場合）または[ヘルプ]（Windows 2000の場合）の順に選択します。ネットワークの情報については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



LANポートの横の2つのランプが接続の状態を示します。

- 黄色のランプはネットワークのアクティビティを表します。
- 緑色のランプは100 Mbpsでの接続を表します。

無線ネットワーク接続の確立（一部のモデルのみ）

お使いのノートブックコンピュータに無線オンオフ ボタンが装備されている場合は、無線で802.11無線LANに接続してネットワーク上のコンピュータや他のリソースにアクセスできます。

無線ネットワークでは、有線ネットワークと同等の機能が利用でき、さらに「ローミング」が可能になります。ケーブルではなく無線でネットワークに接続するため、ネットワークの範囲内であれば、ご自分の席から会議室などへ、ネットワークに接続したまま移動することができます。



警告：無線周波放射を浴びる場合

電波産業会（ARIB、<http://www.arib.or.jp>）の電波防護標準規格（RCR STD-38）によれば、人体に許容できる電力密度は、2.4 GHz 帯で、 1 mW/cm^2 とされています。弊社の無線LAN製品では、ノートブックコンピュータのディスプレイを閉じた場合を含めて、アンテナから20 cm離れた場所で約 0.0063 mW/cm^2 程度で、問題のないレベルとなっています。ただし、ペースメーカーや医療機器、航空機の計器類には、携帯電話やPHS同様、障害を与える恐れがありますので、携帯電話やPHS等と同様の使用ルールに従うようにしてください。

無線通信のオン/オフの切り替え

無線LAN通信を有効にする手順については、一部のモデルのノートブック コンピュータに付属の、無線通信に関する小冊子を参照してください。



無線通信には、例として無線ネットワークやモバイル モデムがあります。航空機に搭乗中など、状況や環境によって、その使用が制限されることがあります。使用の可否が判断できない場合は、ノートブック コンピュータの無線ネットワークをオンにする**前に**適切な立場の人に確認してください。

イタリアおよびシンガポールなどでは、無線機能を使用する前にライセンスを購入する必要がある場合があります。

通信をオンにして接続を開始する

お使いのノートブック コンピュータで無線 802.11 が使用できる場合、802.11 通信がオンのときにはコンピュータの前面にある無線インジケータ ランプが点灯します。無線機能を個別に制御するには、無線設定ソフトウェアを使用する必要があります。

1. コンピュータの電源が入っていない場合は、電源を入れます。
2. 無線 802.11 通信をオンにするために、通常、コンピュータの前面の無線オンオフ ボタンを押している場合は、ボタンを押すとインジケータ ランプが点灯します。無線オンオフ ボタンを押すと、前回の無線設定が復元されます。

または

Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]の順に選択して、ネットワーク接続のアイコンを選択します。

無線ネットワークの範囲内にいる場合は、自動的に接続されます。無線接続の状態を確認するには、[コントロールパネル]から[ネットワーク接続]を開き、接続名を選択します。

通信をオフにして接続を終了する

1. ネットワーク上の他のコンピュータにあるファイルを開いている場合はすべて閉じます。
2. コンピュータの電源を切らずに無線802.11通信だけをオフにするには、無線オンオフ ボタンを押します。

または

タスクバーの無線ネットワーク通信アイコンを右クリックして[無効にする]を選択します。

スタンバイを起動するか、コンピュータの電源を切ることで無線機能はオフになります。

追加デバイス

外付けデバイスの接続

PCカードの装着と取り外し

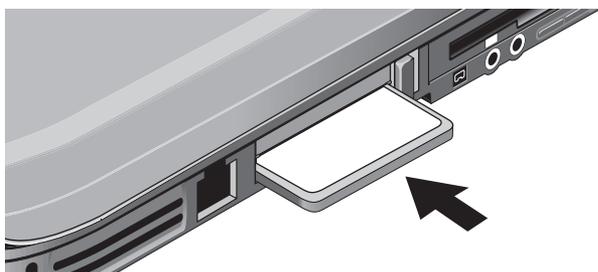
お使いのコンピュータは、標準のType IIおよびType III PCカード（PCMCIAおよびCardBus）をサポートしています。



PCカード スロットの位置と数はモデルによって異なります。

PCカードの装着

1. PCカードのラベル面を上、コネクタ側をスロットに向けて持ちます。
2. スロットの奥までPCカードをスライドさせて挿し込みます。ほとんどのカードは、正しく装着すると外側の縁がノートブックコンピュータの側面と揃いますが、正しく装着されていてもはみ出るカードもあります。



PCカードの取り外し

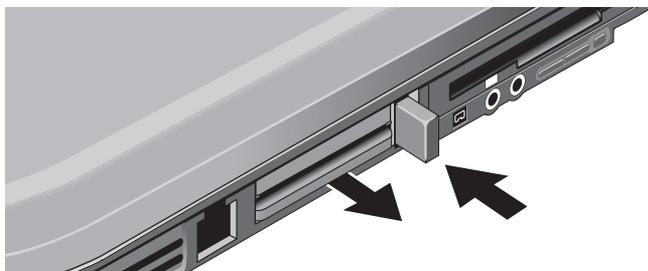


注意: データが失われる可能性がありますので、PCカードを取り外す前に、タスクバーのハードウェアの取り外し用のアイコンを使用してPCカードの動作を停止させるか、ノートブック コンピュータの電源を切ってください。

1. PCカードを取り外す前に、タスクバーの[ハードウェアの取り外し]または[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを選択して取り外すカードを選択します。これにより、データが保全され、予期しない問題が発生する可能性が低くなります。

必要であれば、取り外した後もう一度挿入することでカードを再起動できます。

2. 取り出しボタンを一度押すとボタンが飛び出します。もう一度ボタンを押すとコネクタから外れますので、PCカードをスロットから引き抜きます。



外付けデバイスを接続する場合は、事前に、そのデバイスに付属の説明書で設定や調整が必要かどうか確認してください。お持ちのコンピュータや使おうとしているソフトウェアで正しく動作させるようにするために、デバイスのスイッチなどを設定しなければならないこともあります。

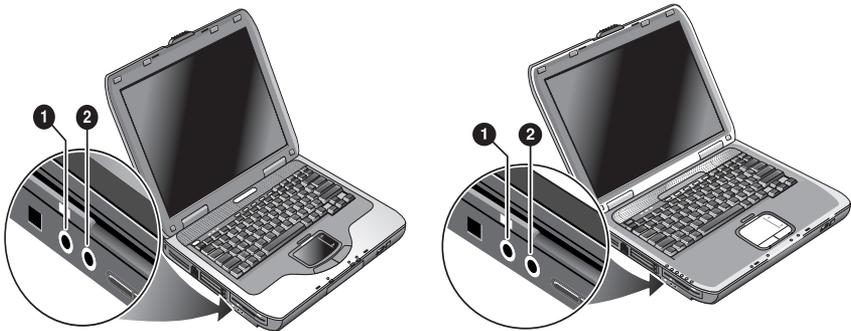
オーディオ機器への接続

外付けマイク、外付けスピーカ、およびヘッドフォンを接続できます。また、ノートブックコンピュータをポートリプリケータに接続している場合は、CDプレーヤなどのステレオソースやデジタルオーディオレコーダなどのデジタルオーディオ機器を接続できます。



注意：ヘッドフォンジャックおよびライン入力ジャックは3端子のステレオジャックで、2端子のモノラルプラグとは互換性がありません。これらのジャックにモノラルプラグを挿し込むと、ノートブックコンピュータを損傷する恐れがあります。

» オーディオケーブルを、コンピュータ本体またはポートリプリケータの適切なオーディオポートに接続します。お使いのコンピュータに対応する図でオーディオコネクタの位置を確認してください。



① 外付けマイクコネクタ：ピンク色

② オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ：緑色



ヘッドフォンポートにデバイスを接続すると、内蔵スピーカが自動的にオフになります。ノートブックコンピュータ本体のオーディオポートにデバイスを接続すると、どちらのポートに接続した場合でも、ポートリプリケータの対応するポートに接続されたデバイスが無効になります。

ノートブック コンピュータへのテレビの接続 (一部のモデルのみ)

1. 標準の4ピンSビデオケーブルをノートブック コンピュータのオプションのSビデオ出力ジャック（背面の黄色いコネクタ）およびテレビのコネクタに挿し込みます。



お使いのノートブック コンピュータに、7ピンのSビデオ出力コネクタが装備されている場合、4ピンと7ピンの両方のコネクタに同時に接続することはできません。どちらか一方をお使いください。

2. Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[デスクトップの表示とテーマ]→[画面]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[画面]の順に選択し、さらに[設定]タブ→[詳細設定]ボタン→[ディスプレイ]タブの順に選択します。
3. テレビを有効にするには、[TV]の横の赤いボタンを選択します。



Sビデオ ケーブルでノートブック コンピュータとテレビを接続していない場合は、赤いボタンは表示されません。

4. 変更内容を決定するには[適用]または[OK]を選択します。
5. Windowsを再起動するようにメッセージが表示された場合は、[はい]を選択して再起動します。

外部モニタへの画面の切り替え（一部のモデルのみ）

キーボードの上部にあるTV Now!ワンタッチ ボタンを押すと、画面表示をノートブック コンピュータ本体のディスプレイからテレビ出力モードに切り替えられます。コンピュータにテレビが接続されていない場合は、デフォルトのメディア アプリケーションが起動します。

モニタの解像度などの設定の調整

1. Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[デスクトップの表示とテーマ]→[画面]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[画面]の順に選択します。
2. [設定]タブで、画面の解像度や色を設定します。

外付けモニタのリフレッシュ レートを上げる必要がある場合は、外付けモニタだけに画像を表示させるようにすることができます。または、一方のディスプレイをセカンダリ ディスプレイにすることで、別々にリフレッシュ レートを設定することも可能です。

1. Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[デスクトップの表示とテーマ]→[画面]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[画面]の順に選択します。
2. [設定]タブで[詳細設定]ボタンを選択し、[ディスプレイ]または[モニタ]タブを選択して[モニタ]タブでリフレッシュ レートを設定します。

デュアル ディスプレイ モードの使用

お使いのノートブック コンピュータに外付けモニタを接続することで、デスクトップ領域を広げることができます。

1. Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[デスクトップの表示とテーマ]→[画面]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[画面]の順に選択します。
2. [設定]タブを選択します。
3. セカンドディスプレイを選択して、デスクトップを拡張するためのオプションを選択します。

それぞれのディスプレイに異なる解像度と色数を設定できます。ただし、拡張デスクトップを使用するには、それぞれのディスプレイにビデオメモリが必要です。このため、高解像度で色数を多くすると、ディスプレイの動作が不安定になる場合があります。外付けモニタの解像度は1024×768、両方のディスプレイで64K（16ビット）色の設定から始めて、アプリケーションを使用した場合の状況を確認しながら徐々に高い設定にしていくことをお勧めします。また、DVDの再生や3Dグラフィックスの実行時などにはさらに多くのビデオメモリを必要とするため、ディスプレイの設定の変更が必要となる場合があります。

DVDムービーを再生する場合は、プライマリディスプレイにだけ表示されます。プライマリディスプレイを変更するには、**[画面のプロパティ]**の**[設定]**タブ（上記の手順1および2を参照してください）でプライマリディスプレイにしたい方を右クリックして**[プライマリ]**を選択します。

IEEE 1394デバイスへの接続（一部のモデルのみ）

お使いのノートブックコンピュータにIEEE 1394ポートが装備されている場合は、オーディオやビデオ機器、ディスクドライブ、プリンタ、およびその他のノートブックコンピュータなどのIEEE 1394デバイスを接続できます。

デバイスケーブルを、IEEE 1394ポートに接続すると、Windowsによって、自動的にデバイスが検出されます。

装備されているIEEE 1394ポートは4線のポートです。6線プラグのデバイスを接続するには、電源が不要なデバイスの場合は簡単なアダプタを、電源が必要なデバイスの場合はハブを、別途購入する必要があります。



うまく接続できない場合は、デバイスの製造販売元のWebサイトで、そのデバイス用のドライバの最新バージョンを探してみてください。

赤外線デバイスへの接続（一部のモデルのみ）



一部のモデルには、赤外線ポートが装備されています。デフォルトで赤外線ポートは有効です。

お使いのノートブック コンピュータに赤外線ポート（コンピュータの前面の小さな長方形のレンズ）が装備されている場合は、無線シリアル通信が可能です。このポート経由で、お使いのコンピュータとプリンタや他のコンピュータなどの赤外線通信機能を装備したデバイスとの間で、赤外線を使用した無線通信ができます。

赤外線ポートの使用

- お使いのコンピュータの赤外線ポートと、通信相手側のデバイスの赤外線ポートが正対するように設置します。また、ポートの間が1m以内で何も障害物が無いことを確認してください。周辺装置からのノイズが接続エラーの原因になる場合もあります。
- 通信状態を確認するには、Windows XPの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[ワイヤレス リンク]の順に、Windows 2000の場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[ワイヤレス リンク]の順に選択して[ワイヤレス リンク]ウィンドウを開きます。

赤外線通信中のスタンバイの回避

スタンバイは赤外線通信とは互換性がありません。

コンピュータがスタンバイ状態のときは、赤外線通信を開始することはできません。

赤外線通信中にスタンバイが起動された場合は、通信が中断されます。スタンバイが終了すると通信が再開されますが、再開されない場合ももう一度赤外線通信を行う必要があります。スタンバイを終了するには、電源ボタンを短く押します。

赤外線プリンタでの印刷

プリンタをインストールしてコンピュータの赤外線ポートに割り当てます。こうすることで、他のプリンタで印刷する場合と同じようにアプリケーションから印刷できます。

赤外線接続でのファイルの送受信

ワイヤレス リンクを使用してコンピュータの赤外線ポート経由でファイルの送受信ができます。ワイヤレス リンクの使用方法については、Windowsのヘルプを参照してください。

追加RAM（メモリ）の取り付け

お使いのノートブック コンピュータには、RAMモジュールを取り付けるためのスロットが2基あります。工場出荷時に、少なくともどちらか1つのスロットにあらかじめRAMモジュールが取り付けられています。どちらのスロットもRAMを拡張するために使用できます。

RAM拡張モジュールの取り付け

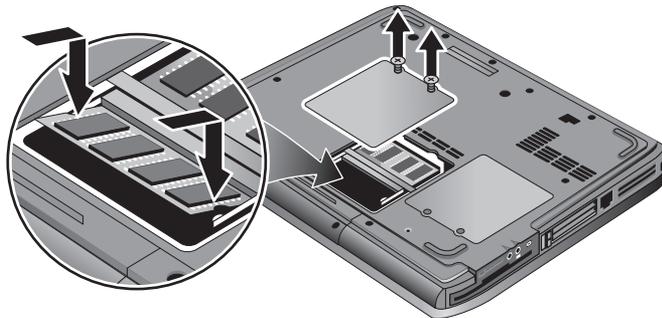
PC2100に準拠したDDR 266 MHz以上のRAMだけを使用してください。

以下の作業を行うには、小さいプラス ドライバが必要です。



注意:お使いのノートブック コンピュータの内部コンポーネントは、静電気に対して非常に敏感で、静電気の放電により完全に使用できなくなる可能性があります。RAMモジュールを持つ場合は、コネクタに触れないように端を持ってください。メモリ モジュールの取り付け作業を始める前に、コンピュータ背面のコネクタ周辺の塗装されていない金属部分に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電させてください。

1. [スタート]→[シャットダウン]→[シャットダウン]→[OK]の順に選択します。
2. ACアダプタを接続している場合はノートブック コンピュータから抜いて、バッテリー パックも取り外します。
3. コンピュータを裏返しに置き、RAMスロットのカバーを固定しているネジを外してカバーを取ります。
4. RAMモジュールを約30度の角度でスロットの奥まで挿し込み、次に両端を押し下げてラッチにはめ込みます。



5. カバーを元通りに取り付けます。
6. バッテリー パックを装着します。

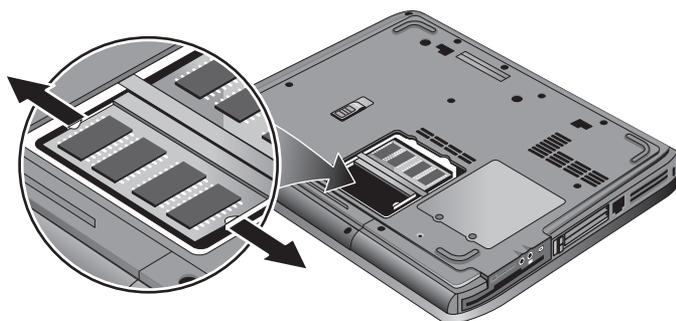
RAM拡張モジュールの取り外し

既存のRAMモジュールを取り外して、大きな容量のものと交換することもできます。以下の作業を行うには、小さいプラス ドライバが必要です。



注意:お使いのノートブック コンピュータの内部コンポーネントは、静電気に対して非常に敏感で、静電気の放電により完全に使用できなくなる可能性があります。RAMモジュールを持つ場合は、コネクタに触れないように端を持ってください。メモリ モジュールの取り付け作業を始める前に、コンピュータ背面のコネクタ周辺の塗装されていない金属部分に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電させてください。

1. [スタート]→[シャットダウン]→[シャットダウン]→[OK]の順に選択します。
2. ACアダプタを接続している場合はノートブック コンピュータから抜いて、バッテリー パックも取り外します。
3. コンピュータを裏返しに置き、RAMスロットのカバーを固定しているネジを外してカバーを取ります。
4. RAMモジュールの両端のラッチを外側に広げます。ラッチが外れると、モジュールが上がります。次の図で確認してください。



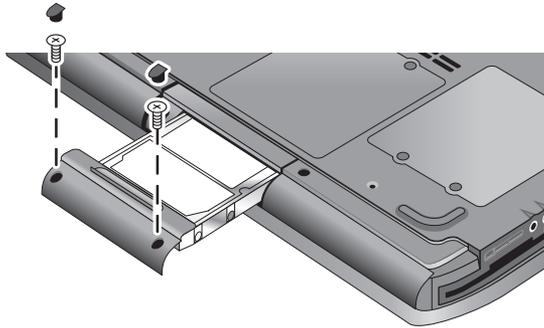
5. RAMモジュールをスロットから取り出します。
6. カバーを元通りに取り付けます。
7. バッテリー パックを装着します。

ハードドライブの交換

ハードドライブの交換

以下の作業を行うには、小さいプラス ドライバが必要です。

1. ACアダプタを使用している場合はノートブック コンピュータから抜きます。
2. バッテリー パックを取り外します。
3. コンピュータを裏返しに置きます。
4. 先がとがったものでネジ穴のプラグを取り、ネジを取り外します。お使いのモデルにより、ネジが2本の場合と3本の場合があります。



5. ハードドライブをコンピュータからゆっくり引き出して外します。
6. 新しいドライブをゆっくりハードドライブ コンパートメントにスライドさせます。しっかりと押しつけてコネクタをかみ合わせます。
7. ハードドライブのネジとプラグを取り付けなおします。

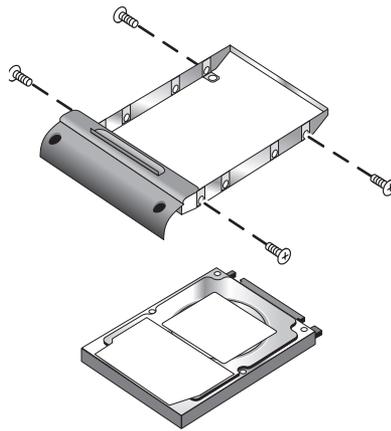


新しいハードドライブを取り付けた場合は、他のソフトウェアをロードする前に、まずユーティリティ用のパーティションを作成してください。

ハードドライブ ホルダの交換

ホルダが付いていない新しいハードドライブを取り付ける場合は、古いドライブからホルダを取り外して新しいドライブに取り付けます。以下の作業を行うには、小さいプラス ドライバが必要です。

1. ドライブとホルダを止めている4本のネジを外して、ドライブからホルダを取り外します。
2. ハードドライブの一方の端に付いているピン コネクタ アタッチメントを、コネクタのピンを曲げないように注意しながら、左右順番に少しずつ外します。



3. 取り外したアタッチメントを、新しいドライブのピンに取り付けます。コネクタのピンを曲げないように注意しながら、左右順番に少しずつはめ込みます。
4. ドライブにホルダをかぶせます。
5. 4本のネジでドライブとホルダを止めます。

新しいハードドライブの準備

新しいハードドライブを取り付けた場合は、ノートブック コンピュータで使用できるように準備する必要があります。

お使いのコンピュータに最初にインストールされていた Windows オペレーティングシステムとソフトウェアをリストア (復元) したい場合は、このガイドの「[トラブルシューティング](#)」の章の説明に従って操作してください。

トラブルシューティング

ノートブック コンピュータの トラブルシューティング

この章では、ノートブック コンピュータの使用中に発生する可能性のあるさまざまなトラブルとその解決方法について説明します。記載されている順番に、解決方法を一つずつ試してみてください。

また、トラブルが発生した場合、次の方法でも解決につながる情報を得ることができます。

- Windowsのトラブルシューティング機能を使用します。**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]** (Windows XPの場合) または**[ヘルプ]** (Windows 2000の場合) の順に選択します。
- キーボードの上部にあるワンタッチ キーから、クエスチョン マークのキーを選択します。
- お使いのコンピュータに付属のMicrosoft Windowsについての説明書を参照します。
- 弊社のサポート窓口については、コンピュータに付属の『保証規定 (サービスおよびサポートを受けるには)』を参照してください。

オーディオに関する問題

音が聞こえない場合

- お使いのノートブック コンピュータに音量調節用のボタンがある場合は、+ボタンを押して音量を上げます。
- Windowsのタスクバーにスピーカ アイコンがある場合は、そのアイコンを選択し、[全ミュート]のチェックを外します。お使いのコンピュータにミュート（消音）ボタンがある場合は、ミュート ボタンを押してインジケータ ランプを消灯させます。
- MS-DOS[®]版のゲームなど、コンピュータをMS-DOSモードでお使いの場合は、サウンド機能が正しく働かない場合があります。サウンド機能を活用するには、Windowsのアプリケーションを使用してください

音が録音されない場合

- 外付けマイクを接続します。お使いのコンピュータには、内蔵マイクは装備されていません。
- 録音に関するソフトウェアの設定を確認します。[スタート]→[すべてのプログラム] (Windows XPの場合) または[プログラム] (Windows 2000の場合) →[アクセサリ]→[マルチメディア]または[エンターテイメント]→[サウンド レコーダー]の順に選択します。
- タスクバーのスピーカ アイコンを選択して表示される[ボリューム コントロール]ウィンドウで、[オプション]→[プロパティ]の順に選択してマイクが録音時に表示するコントロールとして選択されていることを確認します。

スピーカから高音の大きな音が出る場合

- タスクバーのスピーカ アイコンを選択して表示される[ボリュームコントロール]ウィンドウで、全体の音量を調整する[ボリュームコントロール]を低くしてみます。
- [ボリュームコントロール]ウィンドウで[オプション]→[プロパティ]の順に選択して、再生時の設定としてマイクを選択し、[ボリュームコントロール]ウィンドウで[マイク]の[ミュート]オプションを選択します。

CDまたはDVDに関する問題

CDやDVDから起動できない場合

- ブート（起動）可能なCDまたはDVDであることを確認します。
- CDやDVDドライブがブートデバイスとして選択されていることを確認します。方法については、このガイドの「[基本操作](#)」の章を参照してください。
- [スタート]→[シャットダウン]→[再起動]→[OK]の順に選択してコンピュータを再起動します。

DVDが正常に再生できない場合

- ほこりや汚れによって、ディスクの再生が飛ぶことがあります。やわらかい布でディスクを拭いてください。ディスクがひどく傷ついている場合は交換が必要となる可能性があります。
- バッテリ電力でDVDを再生している場合は、電源オプションの設定を変更してみてください。

DVDムービーの再生中にリージョン コード エラーが表示される場合

DVDには、ディスクのデータとしてリージョン（地域）コードが埋め込まれているものがあります。このコードにより、そのDVDが販売された以外の国や地域でDVDムービーが再生できないようになります。別のリージョン用のDVDを再生しようとする、リージョンエラーが表示されます。

CDまたはDVDから読み出せない場合

- 片面のCDまたはDVDの場合、ディスクの絵や文字が書いてある方を上にしてドライブにセットしていることを確認してください。
- ディスクをきれいにしてください。
- コンピュータによりディスクが認識されるまで、5～10秒ほどお待ちください。
- システムを再起動します。ドライブからディスクを取り出した後、[スタート]→[シャットダウン]→[再起動]→[OK]の順に選択します。
- CD/DVD-RWコンボドライブでCDを作成した場合は、別のメーカーのディスクを使用してみてください。読み書きの品質は、お使いのメディアによって異なる場合があります。

DVDムービーが画面いっぱいに表示されない場合

両面のDVDの場合、一方の面が標準形式でもう一方の面がワイドスクリーン形式になっています。ワイドスクリーン形式の場合、画像の上下に黒い帯が表示されます。標準形式で見するには、ディスクをひっくり返してドライブにセットしなおしてください。

DVDが2つのディスプレイに表示されない場合

- 拡張デスクトップ（デュアルディスプレイ）モードの場合は、DVDムービーを再生するとプライマリディスプレイにだけ表示されます。DVDプレーヤーのウィンドウをプライマリディスプレイ側に移動します。
- 拡張デスクトップモードではなく両方のディスプレイが有効の場合は、キーボードの上部にあるTV Now!ワンタッチボタンを押して、どちらか一方のディスプレイへの表示に切り替えます。

CDを挿入した後、Wordpad.exeが見つからなくなった場合

.docという拡張子がついたファイルをワードパッドで開こうとして、Wordpad.exeプログラムファイルが見つからないというエラーメッセージが表示された場合は、プログラムファイルの場所として、**C:\Program Files\Accessories**と入力してください。

画面表示に関する問題

ノートブック コンピュータの電源が入っているのに画面に何も表示されていない場合

- マウスを動かすか、タッチパッドをタップ（＝軽くたたくこと）します。こうすることにより、オフになっていたディスプレイがオンになります。
- コンピュータが冷たい場合は、暖まるまで待ちます。

画面表示が読みづらい場合

- Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[デスクトップの表示とテーマ]→[画面]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[画面]の順に選択し、お使いのモデルでのデフォルトの解像度（1024×768以上）に設定します。
- デスクトップのアイコンおよびフォント サイズを調整してみます。

外付けモニタが機能しない場合

- 正しく接続されているか確認します。
- 外付けモニタが認識されていない可能性があります。BIOS セットアップユーティリティの[System Devices]（システム デバイス）メニューで[Video Display Device]（ビデオディスプレイ デバイス）を[Both]（両方）に設定してみてください。
- テレビをオプションのSビデオ ポートに接続して使用している場合は、テレビをオンにしてください。

ハードドライブに関する問題

ハードドライブが回転しない場合

- ノートブック コンピュータに電力が提供されていることを確認します。必要であればACアダプタを接続し、ACコンセントとコンピュータ背面のコネクタにしっかりと挿し込んでください。
- ハードドライブをいったん取り外して取り付けなおします。

ハードドライブから変な音がする場合

- ファンやPCカードなど、他の場所からの音でないか確認します。
- ドライブの中の必要なファイルをすぐにバックアップします。

ファイルが壊れた場合

- [マイ コンピュータ]を開いてスキャンしたいドライブを選択し、[ファイル]→[プロパティ]→[ツール]タブの順に選択して[エラーチェック]欄にある[チェックする]ボタンを選択します。
- ウィルスチェック用プログラムを実行します。
- 必要であれば、この章の「システム復旧機能」に記載されている機能を使用して、ハードドライブをフォーマットして工場出荷時のオリジナルソフトウェアを再インストールすることも可能です。

熱に関する問題

お使いのノートブック コンピュータは、通常の使用でも本体の温度が上がります。

コンピュータが異常に熱くなった場合

- コンピュータは常に平らな場所に置き、周囲や底部の通気を妨げないようにします。
- 底面および側面の通気孔がふさがれていないことを確認します。
- CPU の使用率を 100% 近くまで上げるゲームやその他のプログラムを実行すると、コンピュータの温度を上げることになります。

赤外線に関する問題

デフォルトで赤外線ポートは有効です。

赤外線通信でトラブルが発生した場合

- 双方の装置の赤外線ポートが正対していて、間に何も障害物がないことを確認します。(お使いのノートブック コンピュータの赤外線ポートは前面に装備されています。) ポート間の距離は1 m以内になります。
- [デバイス マネージャ]での設定を確認します。
 1. Windows XPの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順に、Windows 2000の場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[システム]の順に選択します。
 2. [ハードウェア]タブで[デバイス マネージャ]ボタンを選択し、赤外線デバイスを展開します。赤外線ポートを選択し、デバイスが有効になっていることを確認します。
- 赤外線ポートを使用しているアプリケーションが1つだけであることを確認します。

キーボードおよびポインティング デバイスに関する問題



以下の説明は、内蔵および外付けデバイスに共通です。

ポインタを制御しづらい場合

ポインタの設定を調整します。Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[マウス]の順に選択します。

タッチパッドが機能しない場合

- タッチパッド オンオフ ボタンを押して、ランプを点灯させます。
- ノートブック コンピュータの再起動中およびスタンバイ モードからの復帰中は、タッチパッドに触れないでください。このような場合は、キーボードの任意のキーを押すと通常の操作状態に戻ります。
- 外付けマウスが接続されている場合、通常、内蔵デバイスは無効になります。この設定は、BIOSセットアップ ユーティリティで変更できます。この章の「[ノートブック コンピュータの設定](#)」の項目を参照してください。
- [スタート]→[シャットダウン]→[再起動]→[OK]の順に選択して、コンピュータを再起動します。

入力中にタッチパッドによりポインタやカーソルが動いてしまう場合

タッチパッド オンオフ ボタンを押して、入力中はタッチパッドを切っておきます。

LANに関する問題

内蔵ネットワーク アダプタ経由でLANに接続できない場合

- すべてのケーブルとその接続状態を確認します。可能であれば、別のネットワーク ステーションに接続してみます。
- 10Base-T 接続の場合はカテゴリ 3、4、または 5 の LAN ケーブルを、100Base-TX 接続の場合はカテゴリ 5 の LAN ケーブルを使用していることを確認します。ケーブルは最長 100 m です。
- [スタート]→[ヘルプとサポート] (Windows XP の場合) または [ヘルプ] (Windows 2000 の場合) の順に選択して、ネットワークについてのトラブルシューティングを行います。
- Windows XP の場合 : [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]→[ハードウェア] タブ→[デバイス マネージャ] ボタンの順に選択します。

Windows 2000 の場合 : [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[システム]→[ハードウェア] タブ→[デバイス マネージャ] ボタンの順に選択します。

ネットワーク アダプタが無効になっている場合は、有効にしてみてください。他のデバイスと競合している場合は、そのデバイスを無効にしてみてください。

[マイ ネットワーク]などで他のコンピュータを参照できない場合

[スタート]→[検索]→[プリンタ、コンピュータ、または人] (Windows XP の場合) または [ファイルやフォルダ] (Windows 2000 の場合) の順に選択して、目的のコンピュータを検索します。

Netwareサーバにログインできない場合

NetwareサーバがIPS/SPXプロトコルを使用していると、お使いのノートブック コンピュータのフレームの種類を、強制的にサーバと同じフレームの種類にする必要がある場合があります。

ネットワーク接続の応答が遅い場合

ネットワーク接続にプロキシ サーバを使用している可能性がありますので、ローカルアドレスにはプロキシ サーバを使用しないオプションを有効にしてみます。これは[コントロール パネル]のネットワーク接続のプロパティで設定できます。

メモリに関する問題

メモリ不足メッセージが表示される場合

- Cドライブの空き容量が十分あることを確認してください。
- MS-DOSプログラムを実行中にメモリの問題が発生する場合は、[スタート]→[ヘルプとサポート] (Windows XPの場合) または[ヘルプ] (Windows 2000の場合) の順に選択して、MS-DOSまたはアプリケーションやソフトウェアについてのトラブルシューティングを行います。
- ノートブック コンピュータに取り付けたRAMモジュールの容量分すべてをアプリケーションの実行時にしようできるわけではありません。RAMの一部は、ディスプレイ メモリとして使用されます。ディスプレイ メモリの容量は、BIOSセットアップユーティリティで確認できます。

RAMを追加してもメモリが増えない場合

取り付けたRAMモジュールが、お使いのコンピュータで使用可能な、PC2100 準拠のDDR-226以上のRAMモジュールであることを確認してください。

RAMの追加後、コンピュータからビープ音は聞こえるが起動しない場合

互換性のないRAMが取り付けられました。RAMモジュールを取り外してください。

モデムに関する問題

モデムの速度が遅い場合

- 過剰な静電気やノイズにより、モデム接続の送受信速度は総体的に遅くなります。この種の問題を解決するには、必要に応じて電話会社にご相談ください。
- 国際回線経由の場合は、回線へのノイズを消すことは非常に困難であるかほとんど不可能です。
- キャッチホン契約をしている場合、通信中にキャッチホン信号が入ると通信が切断されることがあります。これを回避する方法については、契約している電話会社にお問い合わせください。
- 回線に対する他の接続を取り外します。可能であれば、壁面の電話コンセントに直接接続してください。
- 可能であれば、通常ファックスや他のモデムが接続されている回線に接続してみます。

モデム経由でダイヤルされないまたは発信音が検出されない場合

- ケーブルやデバイスがすべて正しくしっかりと接続されているか確認します。
- 標準の電話を電話回線に接続してみて、回線自体が正常であることを確認します。
- 他の人が同じ回線を使用していないことを確認します。
- 可能であれば、通常ファックスや他のモデムが接続されている回線に接続してみます。
- 国外で使用している場合、国によってはモデムが発信音（ダイヤルトーン）を検出できないことがあります。Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[電話とモデムのオプション]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電話とモデムのオプション]の順に選択して、発信音を待ってからダイヤルするオプションを無効にします。

モデムが誤ダイヤルする場合

- 外線や長距離電話をかける場合に特別な数字を入力する必要がないかどうかを含めて、入力した電話番号に間違いがないか確認します。
- Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[電話とモデムのオプション]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電話とモデムのオプション]の順に選択して、ダイヤルのオプションを確認します。外線や長距離電話をかける場合に必要な番号のコピーがないか探してみます。
- ダイヤルしている番号が通話中でないことを確認します。
- 国外で使用している場合、国によってはモデムが発信音を検出できないことがあります。Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[電話とモデムのオプション]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電話とモデムのオプション]の順に選択して、発信音を待ってからダイヤルするオプションを無効にします。
- キャッチホン契約をしている場合、通信中にキャッチホン信号が入ると通信が切断されることがあります。これを回避する方法については、契約している電話会社にお問い合わせください。

ダイヤルされても接続されない場合

- 2、3、または4線のアナログ電話回線を使用していることを確認します。デジタル回線は使用できません。ホテル等ではデータ回線を使用したい旨をお伝えください。
- 可能であれば、通常ファックスや他のモデムが接続されている回線に接続してみます。
- 相手側のモデムに問題が発生している可能性もあります。別のモデムにダイヤルしてみてください。

モデムが検出されない場合

- モデムの設定を確認します。Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[電話とモデムのオプション]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電話とモデムのオプション]の順に選択して、COMポートを確認してください。
- Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[システム]の順に選択し、さらに[ハードウェア]タブ→[デバイス マネージャ]ボタンの順に選択します。モデムが無効になっている場合は、有効にしてみてください。他のデバイスと競合している場合は、そのデバイスを無効にしてみてください。
- ファクス規格のClass 2でファックス用ソフトウェアを実行している場合は、Class 1に変更してみてください。

モデムがダイヤルしても発信音が聞こえない場合

- お使いのノートブック コンピュータにオーディオミュート（消音）ランプが装備されている場合は、ランプが消えていることを確認します。ランプが点灯している場合は、オーディオミュート ボタンを押して、ミュートを解除します。
- スピーカの音量設定を確認します。
- Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[電話とモデムのオプション]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電話とモデムのオプション]の順に選択して[モデム]タブからモデムを選び、[プロパティ]ボタン→[モデム]タブの順に選択して音量の設定を確認します。

モデムは接続されるが送受信されたデータに不具合がある場合

- Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[電話とモデムのオプション]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電話とモデムのオプション]の順に選択して、パリティ、速度、文字列長、およびストップ ビットが送信側と受信側のモデムで一致していることを確認します。
- 別の電話回線を使用するか、別のサーバの番号をダイヤルしてみてください。

モデムのエラー メッセージが表示された場合

ATコマンド文字列に誤ったコマンドが混じっている可能性があります。Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[電話とモデムのオプション]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電話とモデムのオプション]の順に選択し、[モデム]タブ→[プロパティ]ボタン→[詳細設定]タブの順に選択してATコマンドの文字列を追加情報として入力した場合や、通信ソフトウェアでATコマンドを入力した場合は、その文字列が正しいことを確認してください。

モデム経由でファックスの送受信ができない場合

- ファクス規格のClass 2でファクス用ソフトウェアを実行している場合は、Class 1に変更してみてください。
- 他の通信プログラムをすべて閉じます。
- アプリケーションから印刷することでファックスを送ろうとしている場合は、印刷先（プリンタ）としてファックスを選択していることを確認してください。
- 一時的に電源管理機能をオフにしてみます。

回線に過剰電流が検出された場合

2、3、または4線のアナログ電話回線を使用していることを確認します。デジタル回線は使用できません。ホテル等ではデータ回線を使用したい旨をお伝えください。

モデムから繰り返しクリック音が聞こえるが接続されない場合

- 2、3、または4線のアナログ電話回線を使用していることを確認します。デジタル回線は使用できません。ホテル等ではデータ回線を使用したい旨をお伝えください。
- ケーブルやデバイスがすべて正しくしっかりと接続されているか確認します。

PCカード（PCMCIA）に関する問題

PCカードがコンピュータで認識されない場合

- PCカードをいったん取り出してもう一度挿し込みます。
- [スタート]→[シャットダウン]→[再起動]→[OK]の順に選択してコンピュータを再起動します。
- PCカード自体に問題がないことを確認するため、別のコンピュータでカードを試してみます。
- ズーム ビデオはサポートされていません。
- IRQを割り当てる必要があるPCカードの場合、Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[システム]の順に選択し、さらに[ハードウェア]タブ→[デバイス マネージャ]ボタンの順に選択してPCカードを選び、固有のIRQが割り当てられていることを確認します。

ネットワークPCカードが正しく通信しなくなる場合

- コンピュータの電源を切ったりスタンバイを起動したりした場合は、カードがリセットされることがあります。すべてのアプリケーションを終了し、いったんPCカードを取り出してから挿し込みなおします。
- [コントロール パネル]で設定を確認します。

PCカード モデムが機能していない場合

次の手順で内蔵モデムを無効にします。

1. Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[システム]の順に選択し、さらに[ハードウェア]タブ→[デバイス マネージャ]ボタンの順に選択します。
2. 現在のモデム装置を見るため、[モデム]を選択します。
3. 内蔵モデムを選択して、モデムを無効にするオプションを選択します。

パフォーマンスに関する問題

ノートブック コンピュータの動作が止まったり非常に遅くなったりする場合

- Windows の通常のパフォーマンスの範囲内の場合もあります。バックグラウンドで別のタスクを実行していると、応答時間に影響があります。
- ウィルススキャン用プログラムなど、ある特定のバックグラウンドタスクが応答時間に影響している可能性があります。
- [Ctrl] + [Alt] + [Delete]キーを押し[タスク マネージャ]ボタンを選択すると、アプリケーションが応答しているかどうか確認できます。
- [スタート]→[シャットダウン]→[再起動]→[OK]の順に選択してコンピュータを再起動します。

- グラフィックスを表示させようとしていたり、切断されたネットワーク接続のタイムアウトを待っていたりする場合に応答が遅くなるファイルブラウザもあります。
- コンピュータの反応が停止しているように見えたり遅くなったりしたときに、ハードドライブへのアクセスが頻繁に行われているような場合は、Windowsによるコンピュータのハードドライブのスワップファイルへの書き込みに時間がとられている可能性があります。このような状態が続く場合は、RAMメモリを追加することをおすすめします。なお、ハードドライブへのアクセスは、コンピュータの前面にあるハードドライブランプで確認できます。
- ハードドライブの使用可能な空き容量を確認します。一時ファイルや不要なファイルは削除します。

コンピュータが応答しなくなった場合

- [Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを押して[タスク マネージャ]を選択し、応答していないアプリケーションを終了させます。
- 電源ボタンを4秒以上押し続けたままにしてコンピュータの電源を切ってリセットします。保存していないデータはすべて失われます。もう一度電源ボタンを押して、コンピュータの電源を入れなおします。
- 何も変化がない場合は、コンピュータ底面のリセットボタンに、ペーパークリップを伸ばしたような金属の棒を挿し込みます。次に電源ボタンを押して、コンピュータの電源を入れなおします。
- システムのロックアップを防ぐため、グラフィックス系のアプリケーションを使用しているときにTV Now!ワンタッチ ボタンを押して画面を表示させるデバイスを切り替えないでください。また、グラフィックス系アプリケーション使用中にコンピュータの電源を切ったり、スタンバイを起動したりしないでください。

電源およびバッテリー パックに関する問題

電源投入直後にノートブック コンピュータの電源が切れる場合

バッテリー電力の残量が極端に少なくなっていることが考えられます。ACアダプタを使用して外部電源に接続するか、充電済みのバッテリー パックを装着します。

コンピュータのビープ音が鳴り続ける場合

バッテリー電力の残量が少ない場合にビープ音が繰り返し鳴らされたり、警告メッセージが表示されたりします。必要なデータを保存してすぐにWindowsを終了してください。その後、充電済みのバッテリー パックを装着するか、ACアダプタを使用してコンピュータを外部電源に接続します。

バッテリー パックが充電できない場合

- 電源コンセントとコンピュータ背面のコネクタに AC アダプタがしっかりと差し込んであること、およびコンピュータのバッテリー充電ランプが点灯していることを確認してください。
- 延長コードを使用している場合は、ACアダプタを延長コードのコンセントから外して、壁面の電源コンセントに直接接続します。
- バッテリー パックが正しい位置にしっかりと装着されていることを確認します。
- お買い上げいただいたコンピュータに付属のACアダプタ（またはこのコンピュータの電源要件を満たすその他の承認されたアダプタ）を使用してください。60 W/3.16 Aアダプタは使用しないでください。
- 熱源が近くにある場合は、コンピュータを離れたところに移動させ、ACアダプタを抜いてバッテリー パックの温度が下がるまで待ちます。バッテリー パックの温度が上がり過ぎると正しく充電できません。
- 可能であれば、別のバッテリー パックおよびACアダプタで試してみてください。

コンピュータの動作時間が短い場合

- このガイドの「[バッテリーパックおよび電源の管理](#)」の章の説明に沿って、バッテリー電力を節約します。
- Microsoft Word のような自動保存機能があるアプリケーションを実行している場合は、ハードドライブへのアクセスを減らすため、この機能を無効にするか自動保存するまでの時間を長く設定します。
- 動作時間が徐々に短くなっていてバッテリーパックを1年から2年くらい使用している場合は、バッテリーパックを交換する必要がある可能性があります。
- モデムを多用していると、バッテリーパックでの動作時間に影響を与えることがあります。
- PCカードの使用は、バッテリーパックでの動作時間に影響を与えることがあります。
- 3か月ごとに、バッテリーパックのテストと再調整を行ってください。

バッテリーパックの残り時間が正しくない場合

表示される時間は、あくまでもその時点での電力の消費状態から換算した推定時間であり、正確な時間というわけではありません。この値は現在の作業の内容に依存しており、現在と同じ割合で電力を消費していった場合の残り時間を表します。このため、CDやDVDの読み書きなど電力の消費量が多い作業をしている時に残り時間を確認すると、実際の残り時間より少なく表示される可能性が大きくなります。

スタンバイが予定通りに自動起動されない場合

- 別のコンピュータに接続していてその接続がアクティブな場合、スタンバイは自動的には起動されません。
- コンピュータで何か作業が行われている場合は、その作業が終了してからスタンバイが起動されます。

ハイバネーションが予定通りに自動起動されない場合

- ハイバネーション（休止状態）のサポートが無効になっていないことを確認します。Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。
- [電源設定]タブで設定内容を確認します。[システム休止状態]のタイムアウトが[なし]に設定されていないかどうか確認してください。

印刷に関する問題



通常は、[スタート]→[ヘルプとサポート]（Windows XPの場合）または[ヘルプ]（Windows 2000の場合）の順に選択して、印刷に関するトラブルシューティングを行うことで、問題が解決できます。

シリアル プリンタで印刷できない場合

- プリンタの電源が入っていて、用紙切れでないことを確認します。
- 適切なプリンタ ケーブルまたはプリンタ アダプタを使用していて、プリンタとノートブック コンピュータの両方にしっかりと接続されていることを確認します。
- プリンタ エラーが出ていないか確認します。

紙の左端に出力されていない場合

600 dpiのプリンタでは正しく機能しないアプリケーションもあります。そのような場合は、300 dpiのプリンタと互換性のあるプリンタ ドライバを選択してみてください。

赤外線プリンタが機能しない場合

- 双方の装置の赤外線ポートが正対していて、間に何も障害物がないことを確認します。(お使いのコンピュータの赤外線ポートは前面に装備されています。) ポート間の距離は1 m以内にします。
- プリンタの電源が入っていて、用紙切れでないことを確認します。
- プリンタ エラーが出ていないか確認します。

Windowsが起動していないと赤外線プリンタは使用できません。

シリアル、パラレル、およびUSBに関する問題

シリアル マウスが機能しない場合

- 製造元の説明に沿ってマウスを正しくインストールしたことを確認します。必要であれば、もう一度最初からインストールしなおしてみてください。
- ポートにしっかり接続されていることを確認します。
- [スタート]→[シャットダウン]→[再起動]→[OK]の順に選択してノートブック コンピュータを再起動します。
- Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[マウス]の順に選択して、マウスの設定を確認します。
- USB対応のマウスを接続します。
- Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[システム]の順に選択し、さらに[ハードウェア]タブ→[デバイス マネージャ] ボタンの順に選択して、[ポート (COM & LPT)] の設定を確認します。

シリアル モデムが機能しない場合

- ポートにしっかり接続されていることを確認します。
- [スタート]→[ヘルプとサポート] (Windows XPの場合) または[ヘルプ] (Windows 2000の場合) の順に選択して、モデムのトラブルシューティングを行います。
- Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[電話とモデムのオプション]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電話とモデムのオプション]の順に選択して、モデムの設定を確認します。
- 次の手順で内蔵モデムを無効にします。
 1. Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[システム]の順に選択します。
 2. [モデム]を選択して現在のモデム装置を表示させます。
 3. 内蔵モデムを選択し、そのモデムを無効にするオプションを選択します。
- Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[システム]の順に選択し、さらに[ハードウェア]タブ→[デバイス マネージャ]ボタンの順に選択して、[ポート (COM & LPT)]の設定を確認します。

シリアルまたはパラレル ポートが機能しない場合

- ポートにしっかり接続されていることを確認します。
- Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[システム]の順に選択し、さらに[ハードウェア]タブ→[デバイス マネージャ]ボタンの順に選択して、[ポート (COM & LPT)]の設定を確認します。

USBポートが機能しない場合

- 周辺機器の製造元に、最新のUSBドライバについてお問い合わせください。
- Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[システム]の順に選択し、さらに[ハードウェア]タブ→[デバイス マネージャ]ボタンの順に選択して、[USB (Universal Serial Bus) コントローラ]の設定を確認します。

起動に関する問題

電源を入れてもノートブック コンピュータが反応しない場合

- ACアダプタを使用して外部電源に接続します。
- ノートブック コンピュータの裏面にあるリセット ボタンに、伸ばしたペーパー クリップの先を挿し込み、その後、電源ボタンを押して再起動します。
- それでも反応しない場合は、バッテリー パックとACアダプタを取り外し、PCカードを抜いて必要に応じてドッキング ベースから取り外します。その後、ACアダプタを再接続し、リセット ボタンを使ってコンピュータをリセットします。

コンピュータがバッテリー電源から起動しない場合

- フル充電されているバッテリー パックが正しく装着されていることを確認します。バッテリー パックを取り外して、バッテリー パック側面のボタンを押すと、充電レベルがランプで表示されます。
- 可能であれば、別のバッテリー パックを試してみてください。

ノートブック コンピュータがフロッピードライブから起動しない場合

- フロッピードライブがブート デバイスとして選択されていることを確認します。方法については、このガイドの「[基本操作](#)」の章を参照してください。
- USBフロッピードライブを使用している場合は、BIOSセットアップユーティリティでレガシーUSBサポートが有効になっていることを確認します。また、お使いのコンピュータに内蔵フロッピードライブが装備されている場合は、USBフロッピードライブを[Removable Drive]の最初のデバイスに設定してください。

起動後にコンピュータが応答しなくなる場合

DHCPサーバのないTCP/IP ネットワークに接続していないか確認します。このような場合、DHCPが有効になっているため、起動時に長時間の遅延が発生する可能性があります。正しいTCP/IP設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

スタンバイからの復帰に時間がかかる場合

ネットワーク カードが装着されていると、復帰時に1～2分ほど余計に時間がかかることがあります。オペレーティング システムがドライバをロードしてハードウェアやネットワークの接続を確認している間は、画面でカーソルが点滅しています。ハードウェアの再初期化が終了すると、Windowsのデスクトップが画面に表示されます。

無線に関する問題

無線802.11通信で問題が発生する場合

- 無線インジケータ ランプが点灯していることを確認します。
- 正しいSSIDおよびチャネル設定を使用していることを確認します。
- インフラストラクチャ接続の場合はアクセス ポイントの範囲内であることを、コンピュータ同士の接続（アドホック接続）の場合は他の無線コンピュータとの通信範囲内であることを確認します。
- アクセス ポイント経由で802.11ネットワークにログオンしているのに、コンピュータからネットワーク リソースにアクセスできない場合は、コンピュータにIPアドレスが割り当てられていない可能性があります。無線接続のサブネット マスクが255.255.000.000の場合、お使いのコンピュータにサーバからIPアドレスが割り当てられなかったため、IPアドレスを取得しなおす必要があります。それでも問題が解決しない場合は、アクセス ポイントを再起動してみてください。
- 別のアクセス ポイントに接続するためにSSIDを別の値に変更したり、インフラストラクチャ モードからアドホック モードに変更したりするには、インターネットIPアドレスを再取得する必要がある場合があります。
- この章の「[LANに関する問題](#)」の項目を参照してください。

[マイ ネットワーク]などに表示されている他のコンピュータに接続できない場合

- 2、3分待ってから[F5]キーを押してネットワーク コンピュータの一覧を再表示させます。
- [スタート]→[検索]→[プリンタ、コンピュータ、または人]（Windows XPの場合）または[ファイルやフォルダ]（Windows 2000の場合）の順に選択して目的のコンピュータを検索します。

ネットワーク上の特定のコンピュータに接続できない場合

- コンピュータがネットワークに接続されていることを確認します。
- Windows XPをお使いの場合は[スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]の順に、Windows 2000をお使いの場合は[スタート]→[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]の順に選択して該当するネットワークのTCP/IPの設定が正しいことを確認します。

接続してもネットワークの応答が遅い場合

- 複数の無線 LAN サービスが使用可能なエリアにいないか確認します。そのような場合、ネットワークが相互に干渉しあっている可能性があります。
- 高速で接続するには距離が離れすぎている可能性がありますので、インフラストラクチャ接続の場合はアクセス ポイントの近くに、アドホック接続の場合は他の無線コンピュータの近くにコンピュータを移動します。

ノートブックコンピュータの設定

BIOSセットアップユーティリティは、お使いのノートブックコンピュータの動作を設定する場合に役立ちます。

セットアップユーティリティの実行

BIOS (Basic Input/Output System : 基本入出力システム) セットアップユーティリティを使用すると、ノートブックコンピュータのシステム設定を変更できるため、ご自分の使い方に合わせてコンピュータをカスタマイズできます。

BIOSセットアップユーティリティでの設定は、一般的にコンピュータのハードウェアを制御し、コンピュータの動作に大きな影響を与えます。

1. [スタート]→[シャットダウン]→[再起動]→[OK]の順に選択します。
2. ロゴ画面が表示されたら、[F2]キーを押してBIOSセットアップユーティリティを起動します。
3. BIOSセットアップユーティリティ内ではポインティング デバイスは使用できません。メニューや項目を選択したり、選択した事項を決定またはキャンセルしたりするには、次の操作を行います。
 - ❑ メニュー間を移動するには左右の矢印キーを使用します。
 - ❑ メニューの中のコマンド間を移動するには上下の矢印キーを使用します。
 - ❑ 選択しているパラメータの値を変更するには [F5] または [F6] キーを押すか、[Enter]キーを押して設定を変更します。
4. 必要なオプションを選択し終わったら、[F10] キーを押すか、[Exit] (終了) メニューを選択してBIOSセットアップユーティリティを終了します。
5. 設定を変更したことにより再起動中にデバイス間に競合が発生すると、BIOSセットアップユーティリティを実行して競合を解消するようにメッセージが表示されます。

以下の表で、このガイドが書かれた時点のBIOSのバージョンの設定について説明します。別のバージョンのBIOSがインストールされているコンピュータでは、設定項目や内容が異なる場合があります。

Main (メイン) メニュー

設定	説明	デフォルト値
BIOS Revision (BIOSリビジョン)	現在のBIOSバージョンが表示されます	自動検出
System Time (システム時刻)	24時間制で時間を設定します。設定値はすぐに有効になります	
System Date (システム日付)	mm/dd/yy形式の英語以外は、dd/mm/yy形式で日付を表示します	
Language (言語)	BIOSセットアップ用の言語を設定します	自動検出
Internal Hard Disk (内蔵ハードディスク)	ハードドライブの種類とさまざまなパラメータを設定します	自動検出
UMA Video Memory (UMAビデオメモリ)	インストールされているRAMメモリの内、ビデオメモリとして割り当てるサイズを設定します	自動
Memory (メモリ)	拡張メモリのサイズを表示します	自動検出
Serial Number (シリアルナンバ)	ユニット背面に表示されているシリアル番号を表示します	自動検出
Service ID (サービスID)	修理サービスを受けるために必要なIDを表示します	自動検出
UUID	16バイトのUUID (Universally Unique ID) を32進数で表します	自動検出
MAC Address (MACアドレス)	内蔵 (有線) LANのMACネットワークアドレスを表示します	自動検出

System Devices (システム デバイス) メニュー

設定	説明	デフォルト値
Video Display Device (表示装置の選択)	外付けディスプレイが接続されているときに自動的に内蔵ディスプレイから外付けディスプレイに切り替えるかどうか設定します	自動
External Pointing Device (外部ポインティング デバイス)	外付けポインティング デバイスが接続されているときに内蔵ポインティング デバイスを無効にする	自動
Legacy USB Support (従 来のUSBサポート)	起動時のUSB マウス、キーボード、およびフロッピードライブのBIOSサポートを有効にします	有効
Wake On LAN from Power Off (LAN経由システムを起 動)	LANポート経由でのコンピュータの起動を可能にします。このオプションを有効にすると、電源がオフの状態でもコンピュータで電力が消費されます	無効

Security (セキュリティ) メニュー

設定	説明	デフォルト値
User Password Is (ユーザ パスワードは)	設定されている場合はユーザ パスワードを表示します	設定なし
Administrator Password Is (管理者パスワードは)	設定されている場合は管理者パスワードを表示します	設定なし
Set User Password (ユーザ パスワード設 定)	ユーザ パスワードを設定、変更、または削除するには[Enter]キーを押します。パスワードは8文字までの半角英数字で設定し、特殊文字やアクセント記号は使用できません	入力
Set Administrator Password (管理者パス ワード設定)	管理者パスワードを設定、変更、または削除するには[Enter]キーを押します。パスワードは8文字までの半角英数字で設定し、特殊文字やアクセント記号は使用できません	入力

Security（セキュリティ）メニュー（続き）

設定	説明	デフォルト値
Password Required to Boot（パスワードが必要）	コンピュータのブート時にパスワードの入力を求めるかどうかを設定します。この設定を変更するには、管理者パスワードが必要です	無効
Internal Hard Disk Drive Lock（内蔵ハードディスクドライブのロック）	ブートパスワード オプションが有効の場合のみ、現在のユーザパスワード（またはユーザパスワードがない場合は管理者パスワード）をハードドライブにエンコードします	無効

Boot（ブート）メニュー

設定	説明	デフォルト値
+Hard Drive（ハードディスク）+Removable Devices（取り外し可能なデバイス）CD-ROM Drive（CD-ROMドライブ） Built-in LAN（内蔵LAN）	ブート デバイスの順序を表示します。順序を変更するには、項目名を移動します。+カテゴリに複数のデバイスがある場合は、スキャンされたものを選択できます。内蔵LANでは、ネットワーク サーバからのディスクなしでの起動を可能にします	1.Hard Drive 2.Removable devices 3.CD-ROM Drive 4.Built-in LAN

Exit（終了）メニュー

設定	説明	デフォルト値
Save Changes and Exit（変更した設定を保存して再起動）	設定値を保存してセットアップユーティリティを終了し、コンピュータを再起動します	
Discard Changes and Exit（変更した設定を保存せずに再起動）	最後に保存された後に加えられた変更をすべて破棄してセットアップユーティリティを終了し、コンピュータを再起動します。パスワード、日付、または時間を変更した場合は影響ありません	
Get Default Values（項目を「初期設定値」に戻す）	設定値をデフォルトに戻してセットアップユーティリティを起動したままにします。パスワード、日付、または時間を変更した場合は影響ありません	

Web経由でのソフトウェアおよびドライバのアップデート

お使いのノートブック コンピュータ用のソフトウェアおよびドライバのアップデートファイルは、インターネットのWebサイトからダウンロードできます。詳しくは、<http://www.hp.com/country/jp/jpn/support.html>を参照してください。

システム復旧機能

ノートブック コンピュータのシステムを復旧させる場合、システムの機能を最適な状態に復旧するためのオプションがいくつかあります。**[システムの復元]**およびOS CD（オペレーティング システムCD）を使用すると、コンピュータに保存されている個人データを失うことなく、ハードドライブの内容を復旧または修復できます。また、OS CDを使用すると、工場出荷時にノートブック コンピュータにあらかじめインストールされていたオペレーティング システムを再インストールすることも可能です。



最良の結果を得るためには、**この説明書に記載してある順序で**、コンピュータの機能を最適な状態に復旧させてみてください。

データの保護

ノートブック コンピュータにソフトウェアやハードウェアを追加すると、システムの動作が不安定になる場合があります。ご自分で作成されたデータなどを保護するには、ファイルを[マイ ドキュメント]フォルダのような特定のフォルダに保存しておき、定期的にそのフォルダのバックアップをお取りください。Windows 2000をお使いの場合は、[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[バックアップ]の順に選択して表示される[Windows 2000バックアップと回復ツール]も利用できます。このツールについて詳しくは、Windows 2000の[ヘルプ]を参照してください。Windows XPをお使いの場合は、システムの復元ポイントを設定することをお勧めします。

Windows XPをお使いのノートブック コンピュータでは、個人データの変更に伴って、毎日、システムの復元ポイント（ベンチマークともいいます）が設定されます。システムの復元ポイントは、新しいソフトウェアをインストールしたりデバイスを取り付けたりした場合にも設定されることがあります。また、新しいソフトウェアをインストールしたりデバイスを取り付けたりする前だけではなく、ノートブック コンピュータが最適な状態で動作している時に、定期的に手動で復元ポイントを設定するようにしてください。こうすることにより、問題が発生した場合に以前の設定を復元することが可能になります。

システムの復元ポイントを設定するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。[作業を選びます]の中の[ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する]というタスクを選択します。次に左側の[ツール]の中から[システムの復元]を選択します。[システムの復元]ウィンドウが表示されます。
2. 画面の説明に従って操作して、復元ポイントを設定します。
ノートブック コンピュータの最適な動作状態の時点に戻すには、以下の手順で操作します。
 1. [スタート]→[ヘルプとサポート]→[ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する]→[システムの復元]の順に選択します。
 2. 画面の説明に従って操作して、ノートブック コンピュータのハードドライブの内容を復元します。

オペレーティング システム (OS) CDでの修復

個人データを失わずにオペレーティング システムの修復を実行するには、ノートブック コンピュータに付属の標準のMicrosoft Windows OS CDを使用します。このCDには、コンピュータにプリインストールされている以下のオペレーティング システムが収録されています。

- Microsoft Windows XP Home EditionまたはWindows XP Professional (コンピュータの設定によって異なります)
- オペレーティング システムに対応したサービス パック

オペレーティング システムを修復するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータを外部電源に接続して、コンピュータの電源を入れます。
2. すぐにOS CDをノートブック コンピュータに挿入します。
3. 電源ボタンを5秒間押し続けて、ノートブック コンピュータの電源を切ります。
4. 再び電源ボタンを押し、ノートブック コンピュータを起動します。
5. 画面の指示に従って、任意のキーを押し、CDから起動します。数分後に、**[セットアップ]**画面が表示されます。
6. **[enter]**キーを押して先に進みます。**[ライセンス契約]**画面が表示されます。
7. **[F8]**キーを押して契約書に同意し、先に進みます。**[セットアップ]**画面が表示されます。
8. 選択したWindowsインストールを修復するには、**[R]**キーを押します。修復プロセスが開始されます。このプロセスの実行には1~2時間かかることがあります。プロセスの完了後、Windowsが再起動します。

OS CDの再インストール

他の復元作業でノートブック コンピュータを正しく修復できなかった場合は、オペレーティング システムを再インストールします。



警告：オペレーティング システムの再インストール中に、個人データやノートブック コンピュータにインストールしたソフトウェアは失われます。データを保護するため、[マイドキュメント]フォルダのバックアップを取ってからオペレーティング システムを再インストールしてください。ファイルのバックアップについては、Windowsの[ヘルプとサポート]または[ヘルプ]を参照してください。

オペレーティング システムを再インストールするには、次の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータを外部電源に接続して、コンピュータの電源を入れます。
2. すぐにOS CDをノートブック コンピュータに挿入します。
3. 電源ボタンを5秒間押し続けて、ノートブック コンピュータの電源を切ります。
4. 再び電源ボタンを押し、ノートブック コンピュータを起動します。
5. 画面の指示に従って、任意のキーを押し、CDから起動します。数分後に、[セットアップ]画面が表示されます。
6. [enter]キーを押して先に進みます。[ライセンス契約]画面が表示されます。
7. [F8]キーを押して契約書に同意し、先に進みます。[セットアップ]画面が表示されます。
8. [esc]キーを押して、修復ではなくオペレーティング システムの新規インストールを続行します。
9. [enter]キーを押して、オペレーティング システムをセットアップします。
10. [C]キーを押し、このパーティションを使用してセットアップを続行します。

11. [NTFS ファイル システムを使用してパーティションをフォーマット (クイック)]を選択して、[enter]キーを押します。
12. [F]キーを押して、ドライブをフォーマットします。再インストールのプロセスが開始されます。このプロセスの実行には1~2時間かかることがあります。プロセスの完了後、Windowsが再起動します。



プロダクト キーの入力を求められたら、ノートブック コンピュータの裏面にあるMicrosoft Certificate of Authenticityラベルを参照してください。

ドライバの再インストール

オペレーティング システムのインストールが完了したら、ドライバを再インストールする必要があります。ハードウェア ドライバとシステムユーティリティの再インストール、およびシステム ソフトウェアの完全な復元を行うには、Driver Recovery CDを使用してください。

ドライバを再インストールするには、以下の手順で操作します。

1. Windowsを実行しているときに、Driver Recovery CDをオプティカルドライブに挿入します。
2. 自動実行を有効にしていない場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択します。次に、「D:¥SWSETUP¥APPINSTL¥SETUP.EXE」と入力します。Dはオプティカルドライブを示します。
3. インストールするドライバまたはシステム ユーティリティを、Driver Recovery CDのメニューから選択します。
4. [次へ]を選択して、インストールを完了します。

ソフトウェア アプリケーションの復元

ドライバを再インストールした後、ノートブック コンピュータに追加していたすべてのソフトウェアを再インストールする必要があります。Application Recovery CDおよび他社製CDを使用して、ソフトウェア アプリケーションを再インストールしたり、引き続き復元作業を行ったりしてください。インストール手順については、付属のCDを参照してください。

索引

数字

802.11
 トラブルシューティング 6-25

A

ACアダプタ
 接続 1-8
ACアダプタ ジャック 1-3
AC電源
 接続 1-8
ATコマンド 4-4

B

BIOSセットアップユーティリティ
 メニュー 6-27
 6-28

C

CardBusスロット 1-3
CD
 作成またはコピー 2-11
 挿入と取り出し 2-9
 トラブルシューティング 6-3
CDドライブ 1-2
COM1 1-3
COMポート 1-3
 トラブルシューティング 6-21

D

DVD
 挿入と取り出し 2-9
 トラブルシューティング 6-3
 ムービーの再生 2-10
 リージョン（地域）コード 2-10
DVDドライブ 1-2
 データ ディスクの作成 2-11

ムービー ディスクの作成 2-11

F

FDD 1-3

H

HDD 1-2, 1-4

I

IEEE 1394デバイス、接続 5-6
IEEE 1394ポート 1-3

L

LAN
 →「ネットワーク」も参照
 接続 4-5
 トラブルシューティング 6-9
LPT1 1-3

N

Num Lock 2-6

P

PCカード
 装着 5-1
 トラブルシューティング 6-15
 取り外し 5-2
PCカードスロット 1-3

R

RAM 1-4
 トラブルシューティング 6-10
 取り付け 5-9
 取り外し 5-10
RJ-11ジャック 1-3
 →「モデム」も参照
 接続 1-9, 4-2

RJ-45ジャック	1-3, 4-5	オン	
→「LAN」も参照		電源	1-10, 2-2
接続	4-5	オンオフ ボタン (入力装置)	1-2
S		オンオフ ボタン (無線)	1-2
Sビデオ出力ジャック	1-3	音量調節	1-3, 2-6
U		か	
USB		開閉ラッチ	1-2
トラブルシューティング	6-21	各部の名称	1-1
USBポート	1-3	前面	1-2
W		底面	1-4
Web、アップデート	6-31	背面	1-3
セットアップ		左側面	1-3
Windows	1-11	右側面	1-2
[Windows]キー	2-8	カスタマイズ	
あ		節電設定	3-3
アップデート		画面	
ソフトウェア	6-31	→「ディスプレイ」、「モニタ」を	
[アプリケーション]キー	2-8	参照	
印刷		画面表示	
トラブルシューティング	6-20	トラブルシューティング	6-5
ウイルス対策	2-14	キー	
オーディオ		Windows	2-8
トラブルシューティング	6-2	アプリケーション	2-8
ポート	5-3	キーボード	
オーディオ機器		ステータス ランプ	1-2
接続	5-3	トラブルシューティング	6-8
オーディオ出力		キーボード ステータス ランプ	1-6
ミュートのオン/オフ	2-6	起動	
オーディオ ジャック	1-3	トラブルシューティング	6-23
オーディオ ミュート ボタン	1-3	ハイバネーション	2-6
オフ		起動デバイス	2-3
電源	2-2	輝度調節	2-6
オプティカル ドライブ	1-2	クリック ボタン	1-2
トラブルシューティング	6-3	ケーブル	
オペレーティング システムCD		セキュリティ	2-13
再インストール	6-34	交換	
修復	6-33	ハードドライブ	5-11
オペレーティング システムの修復	6-33	ハードドライブ ホルダ	5-12
		コネクタ	
		→「ジャック」、「ポート」も参照	
		RJ-45	4-5
		セキュリティ	1-3

- コピー、CD 2-11
- 困ったとき
→「トラブルシューティング」を参照
- コンピュータ
開閉ラッチ 1-2
掃除 2-17
手入れ 2-15
- コンピュータ ウィルス対策 2-14
- コンピュータの各部 1-1
ステータス ランプ 1-5
前面 1-2
底面 1-4
右側面 1-2
- コンフィギュレーション 6-27
- さ**
- 再インストール
オペレーティング システム 6-34
ソフトウェア 6-35
- 再生、DVDムービー 2-10
- 作成、CD 2-11
- 消音 1-3
- 省電力 3-1
カスタマイズ 3-3
- 初期設定 1-11
- シリアル
トラブルシューティング 6-21
- シリアル ポート 1-3
- ジャック
→「コネクタ」、「ポート」も参照
- ACアダプタ 1-3
RJ-11 1-3
RJ-45 1-3
Sビデオ出力 1-3
オーディオ 1-3
- 充電、バッテリー パック 3-5
- スイッチ
電源 1-2
- スクロール パッド 1-2
- スクロール ロック 2-6
- スタートアップ
トラブルシューティング 6-23
- スタンバイ 2-2
- ステータス ランプ 1-5
意味 1-5
キーボード 1-2、1-6
メイン 1-2
- スロット
PCカードおよびCardBus 1-3
ケーブル ロック 1-3
- 制限事項
モデム 4-3
- 赤外線
トラブルシューティング 6-7
プリンタ、トラブルシューティング 6-21
- 赤外線デバイス
接続 5-7
- 赤外線ポート 1-2、5-7
- セキュリティ
ケーブル 2-13
コンピュータ ウィルス対策 2-14
コンピュータのロック 2-13
データの保護 2-16
ハードドライブのロック 2-14
パスワード 2-12
- セキュリティ ロック スロット 1-3
- 設定
BIOS 6-28
コンピュータ 6-27
調整、モニタ 5-5
モデム 4-3
- セットアップ
Windows 1-11
- セットアップ ユーティリティ、BIOS 6-27
- 接続
ACアダプタ 1-8
AC電源 1-8
IEEE 1394デバイス 5-6
LAN 4-5
RJ-11ジャック 1-9
オーディオ機器 5-3
赤外線デバイス 5-7

- 外付けデバイス 5-1
 電話回線 1-9
 トラブルシューティング 6-21
 無線ネットワーク 4-6
 節電設定 3-1
 カスタマイズ 3-3
 前面の各部 1-2
 掃除、コンピュータ 2-17
 装着
 PCカード 5-1
 挿入
 CD 2-9
 DVD 2-9
 外付けデバイス
 接続 5-1
 外付けモニタ
 トラブルシューティング 6-5
 表示の切り替え 5-4
 外付けモニタ ポート 1-3
 ソフトウェア
 アップデート 6-31
 ソフトウェアの復元 6-35
 ソフトウェア、復元 6-35
た
 タイムアウト設定値 3-3
 タスクバー (Windows) 3-4
 タッチパッド 1-2
 機能 2-5
 使用 2-4
 トラブルシューティング 6-8
 チャージ
 →「充電」を参照
 調整
 モニタ 5-5
 底面の各部 1-4
 手入れ 2-15
 テンキーパッド
 オン/オフ 2-6
 ディスプレイ
 →「モニタ」も参照
 輝度調節 2-6
 トラブルシューティング 6-5
 長持ちさせる方法 2-17
 データの保護 2-16, 6-32
 デスクトップ領域 5-5
 デュアルディスプレイ モード 5-5
 電源
 オフ 2-2
 オン 1-10, 2-2
 スタンバイ 2-2
 ステータス ランプ 1-5
 設定 2-2
 トラブルシューティング 6-18, 6-23
 ハイバネーション 2-2
 ボタン 1-2
 ランプ 1-2
 電源管理
 省電力 3-2
 電源スキーム 3-3
 電池
 →「バッテリー」、「バッテリー パック」を参照
 電話回線
 接続 1-9
 トラブルシューティング
 CD 6-3
 DVD 6-3
 LAN 6-9
 PCカード 6-15
 RAM (メモリ) 6-10
 USB 6-21
 印刷 6-20
 オーディオ 6-2
 画面表示 6-5
 キーボード 6-8
 起動 6-23
 シリアル 6-21
 赤外線 6-7
 電源 6-18
 熱 6-6
 ハードドライブ 6-6
 バッテリー パック 6-18
 パラレル 6-21

無線	6-25	背面の各部	1-3
モデム	6-11	バッテリー	
取り出し		ステータス ランプ	1-5
CD	2-9	ランプ	1-2
DVD	2-9	バッテリー切れ	
取り付け		→「ロー バッテリー」を参照	
RAM拡張モジュール	5-9	バッテリー電源	3-4
取り外し		状態の確認	3-4
PCカード	5-2	ロー バッテリー警告	3-5
RAM拡張モジュール	5-10	バッテリー パック	1-2
動作時間	3-6	活用方法	3-6
ドライバ		再充電	3-5
アップデート	6-31	処理	3-8
再インストール	6-35	節電	3-2
ドライブ		挿入	1-7
CD	1-2	トラブルシューティング	
DVD	1-2		6-18, 6-23
ハードディスク	1-2, 1-4	リサイクル	3-8
フロッピーディスク	1-3	バッテリー ラッチ	1-4
な		パスワード	2-12
入力装置		パラレル	
トラブルシューティング	6-8	トラブルシューティング	6-21
ネットワーク		パラレル ポート	1-3
→「LAN」も参照		左側面の各部	1-3
トラブルシューティング	6-9	表示の切り替え	5-4
ネットワーク コネクタ		フロッピーディスク ドライブ	1-3
→「RJ-45ジャック」を参照		ブート デバイスの変更	2-3
熱		プリンタ	
トラブルシューティング	6-6	トラブルシューティング	6-20
は		ヘッドフォン ジャック	1-3
ハードドライブ	1-2, 1-4	ヘルプ	6-1
アクティビティ ランプ	1-2, 1-5	変更、ブート デバイス	2-3
交換	5-11	保護	
準備	5-12	データ	2-16
トラブルシューティング	6-6	ハードドライブ	2-15
保護	2-15	ボタン	
ロック	2-14	PCカードおよびCardBus	1-3
ハードドライブ ホルダ		オーディオ ミュート	1-3
交換	5-12	オンオフ (入力装置)	1-2
ハイバネーション	2-2	オンオフ (無線)	1-2
起動	2-6	クリック	1-2
		電源	1-2

- リセット 1-4
 ワンタッチ 1-2, 2-7
- ポート
 →「コネクタ」、「ジャック」も参照
- IEEE 1394 1-3
 USB 1-3
 シリアル 1-3
 赤外線 1-2
 外付けモニタ 1-3
 パラレル 1-3
- ま**
- マイク ジャック 1-3
 マウス
 トラブルシューティング 6-8, 6-21
- 右側面の各部 1-2
- ミニPCI
 カバー 1-4
- 無線
 インジケータ ランプ 1-2
 トラブルシューティング 6-25
 ネットワーク接続 4-6
- 無線オンオフ ボタン 1-2
 メイン ステータス ランプ 1-2
- メモリ
 →「RAM」も参照
 カバー 1-4
 トラブルシューティング 6-10
- メンテナンス 2-15, 2-16
- モデム
 ATコマンド 4-4
 制限事項 4-3
 設定 4-3
- トラブルシューティング 6-11, 6-22
- モデム コネクタ
 →「RJ-11ジャック」を参照
- モニタ
 調整 5-5
 ポート 1-3
- 問題の解決
 →「トラブルシューティング」を参照
- ら**
- ラッチ
 コンピュータの開閉 1-2
 バッテリ 1-4
- ランプ
 オーディオ ミュート 1-3
 キーボード ステータス 1-2
 ステータス 1-5
 無線インジケータ 1-2
 メイン ステータス 1-2
- リージョン コード (DVD) 2-10
- リセット ボタン 1-4
 使用 2-3
- ローカル エリア ネットワーク
 →「LAN」を参照
- ロー バッテリ 3-5
- ロック
 セキュリティ 2-13
 ハードドライブ 2-14
- わ**
- ワイヤレス リンク 5-8
 ワンタッチ ボタン 1-2
 使用 2-7